

第 4 7 回

府中市市政世論調査

（ 概要版 ）



平成 2 7 年

府 中 市

< 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の属性	2
【住み心地】について	3
■府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■身近な住まいの環境についての率直な感想	4
【生活の満足度】について	5
■現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に対する関心度】について	7
■市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【広報・情報発信】について	10
■行政情報を入手するために利用する手段	10
■「広報ふちゅう」を読む頻度	10
■「広報ふちゅう」で今後工夫してほしいこと	11
■「広報ふちゅう」の発行頻度	11
【公共施設のより効率的かつ効果的な運営】について	12
■府中駅周辺に設置されている公共施設の見直し方法	12
【大規模災害発生時における心配事や不安事項等】について	13
■災害時自宅にいて、心配や不安に思うこと	13
■災害時お住まいの地域で、心配や不安に思うこと	13
【府中市防災ハンドブック】について	14
■「府中市防災ハンドブック」を知っているか	14
■防災対策への取り組み	14
■防災について理解を深めたいこと	15
【市民協働の推進】について	15
■「協働」という言葉を知っているか	15
■「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を知っているか	16
■「市民協働都市宣言」を知っているか	16
■「協働によるまちづくり」をどのように思うか	17
■「協働によるまちづくり」で市が力を入れるべきこと	17
【スポーツ・運動】について	18
■学生時代にスポーツや運動をしていたことがあるか	18
■この1年間に行ったスポーツや運動の程度	18
■この1年間に行ったスポーツや運動は何か	19

■ 今後行ってみたいスポーツや運動は何か	19
■ この1年間にスポーツを支える活動をどの程度行ったか	20
■ 府中市にあるトップチームの認知度	20
■ この1年間にトップチームの試合を観戦したか	21
【健康】について	22
■ 過去1年間に受けた健（検）診等	22
■ 健（検）診が受診しやすくなるための条件	22
■ 健康維持・増進に役立つ情報の入手先	23
■ 地域の人とのかかわりの程度	23
■ 違う世代の方との交流機会	24
■ 地域で困ったときに助け合い、支えあうと思うか	24
【若者の自立】について	25
■ 自立していない若者が増えていると思うか	25
■ 若者が経済的に自立できる社会だと思うか	25
■ 「自立した若者の条件」とは何か	26
■ 「ひきこもり」という言葉や状態を知っていたか	26
■ 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか（あなた自身または家族）	27
■ 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか（近所や親戚・知人）	27
■ 「ひきこもり」の背景や考えについてどのように思うか	27
【にぎわいのあるまちづくり】について	28
■ 府中駅周辺施設の利用頻度	28
■ 府中駅周辺施設の利用目的	28
■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度	29
■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的	29
■ 府中市近隣の主要駅再開発と府中駅周辺のにぎわい	30
■ 府中駅周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりへの取り組み	30
■ 府中市活性化のため今後のまちづくりに期待すること	31

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 47 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様を考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「広報・情報発信」「公共施設のより効率的かつ効果的な運営」「大規模災害発生時における心配事や不安事項等」「府中市防災ハンドブック」「市民協働の推進」「スポーツ・運動」「健康」「若者の自立」「にぎわいのあるまちづくり」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

調査の方法

調査の地域	: 府中市全域
調査対象者	: 府中市在住の満 20 歳以上の男女
標本数	: 1,000 人
抽出方法	: 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を 11 の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
調査方法	: 面接聴取法
調査期間	: 平成 27 年 5 月 23 日(土)～平成 27 年 6 月 28 日(日)
有効回収数(率)	: 824(82.4%)

調査の内容

第 47 回特設設問

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 住み心地 | 7. 広報・情報発信 |
| 2. 住まいの環境 | 8. 公共施設のより効率的かつ効果的な運営 |
| 3. 生活の満足度 | 9. 大規模災害発生時における心配事や不安事項等 |
| 4. 定住意向 | 10. 府中市防災ハンドブック |
| 5. 市政に関する関心度 | 11. 市民協働の推進 |
| 6. 市への要望 | 12. スポーツ・運動 |
| | 13. 健康 |
| | 14. 若者の自立 |
| | 15. にぎわいのあるまちづくり |

注意事項 本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

(1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。

(2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の属性

有効回答数 824 件の属性別回答者数と構成比を表します。

〔性別〕

	回答者数(人)	構成比(%)
男性	419	50.8
女性	405	49.2
(無回答)	0	0.0

〔職業〕

	回答者数(人)	構成比(%)
事務職	101	12.3
専門・技術職	170	20.6
労務・サービス職	61	7.4
役員・管理職	53	6.4
商・工・サービス業	40	4.9
自由業	30	3.6
農林漁業	1	0.1
内職・パート・フリーター	95	11.5
主婦(家事専業)	120	14.6
学生	19	2.3
無職	115	14.0
(無回答)	19	2.3

〔未婚・既婚〕

	回答者数(人)	構成比(%)
未婚	207	25.1
既婚(離別・死別含む)	596	72.3
(無回答)	21	2.5

〔ライフステージ〕

	回答者数(人)	構成比(%)
独身期	135	16.4
家族形成期	108	13.1
家族成長前期	79	9.6
家族成長後期・家族成熟期	128	15.5
高齢期	74	9.0
高齢者世帯	122	14.8
その他	133	16.1
(無回答)	45	5.5

〔年齢〕

	回答者数(人)	構成比(%)
20～29歳	119	14.4
30～39歳	160	19.4
40～49歳	168	20.4
50～59歳	138	16.7
60～69歳	123	14.9
70歳以上	116	14.1
(無回答)	0	0.0

〔地区〕

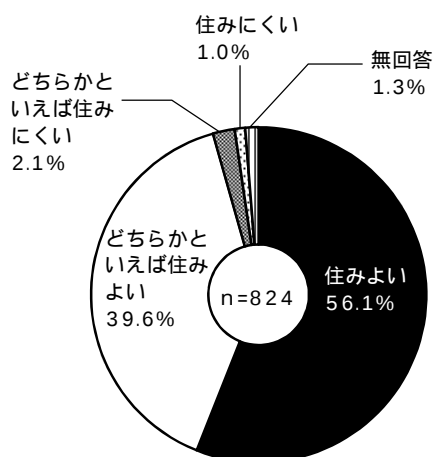
	総人口(人)	対象者数(人)	調査数(人)	回答率(%)	回答者数(人)	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,340	17,872	85	90.6	77	9.3
白糸台文化センター	27,824	22,895	110	84.5	93	11.3
押立文化センター	9,950	8,169	40	80.0	32	3.9
是政文化センター	24,670	19,831	94	84.0	79	9.6
住吉文化センター	26,605	21,448	102	79.4	81	9.8
片町文化センター	29,675	24,955	119	84.0	100	12.1
中央文化センター	39,680	32,905	160	80.6	129	15.7
新町文化センター	27,051	21,966	107	75.7	81	9.8
武蔵台文化センター	15,444	12,830	62	80.6	50	6.1
西府文化センター	18,419	14,565	70	82.9	58	7.0
四谷文化センター	13,688	10,660	51	86.3	44	5.3
総計	255,346	208,096	1,000	82.4	824	100.0

上記対象者数は、平成27年4月1日現在の満20歳以上の人口である。

【住み心地】について

■ 府中市は住みよいところだと感じるか (n=824)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。

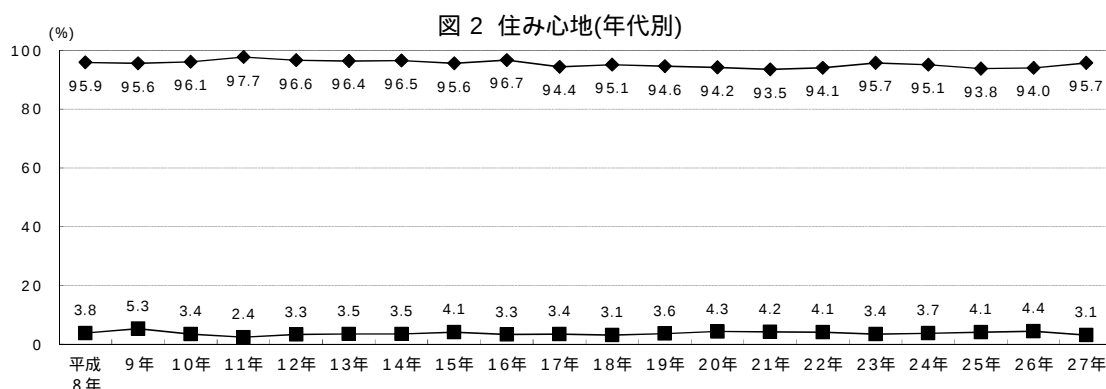
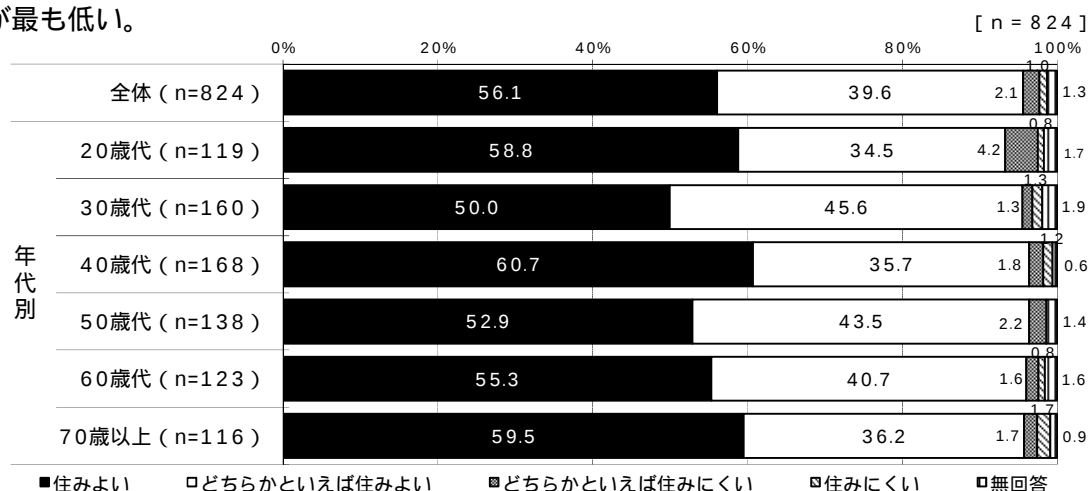


「住みよい」(56.1%), 「どちらかといえば住みよい」(39.6%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、9割半ば(95.7%)にのぼる。

また、「住みにくい」(1.0%), 「どちらかといえば住みにくい」(2.1%)を合わせた『住みにくいと感じる』割合は3.1%にとどまっている。

図1 住み心地

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる』割合は、年代別では、「40歳代」と「50歳代」(96.4%)が最も高く、「20歳代」(93.3%)が最も低い。



◆ 住みよいと感じる ■ 住みにくいと感じる

図3 経年別推移

【住まいの環境】について

■ 身近な住まいの環境についての率直な感想（n=824）

「緑の豊かさ」「排水の便」「交通の便」「風通し、日当たり」「日常の買い物の便」「空気」については7割以上が『非常によい』『まあよい』と感じている。一方、「蚊やハエの発生の防止」「騒音や振動の防止」「日常の買い物の便」「交通安全対策」の順で『あまりよくない』『非常に悪い』と感じる割合が高い。

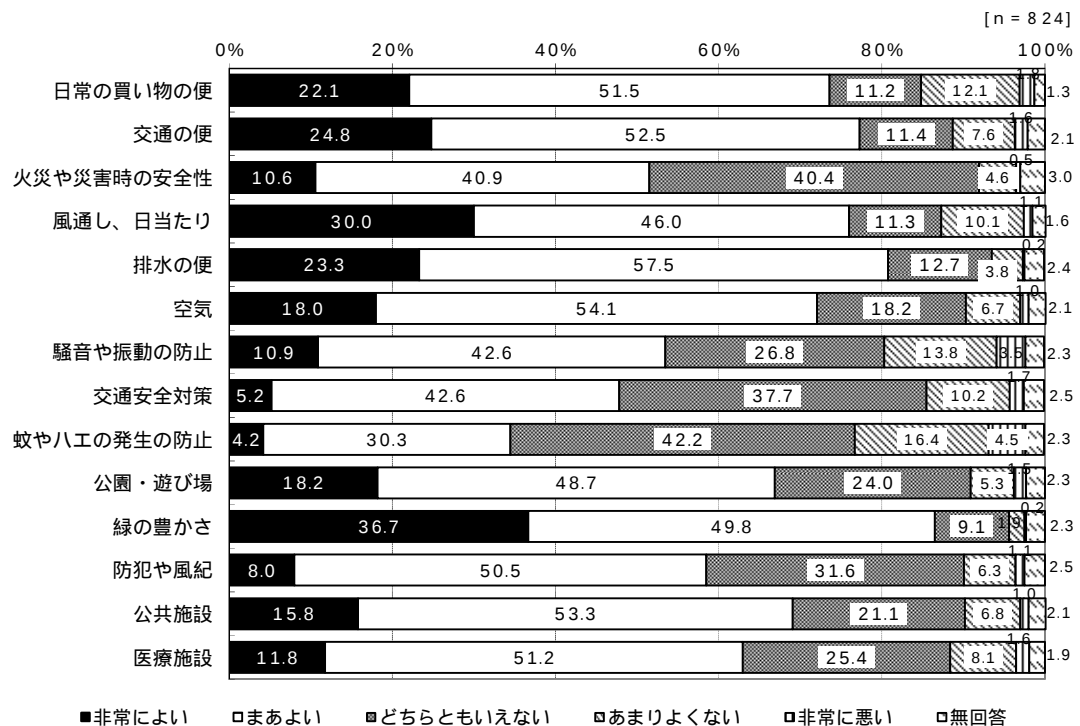


図 4 身近な住まいの環境についての感想

順位	住まいの環境	非常によいまたは まあよい (%)
1位	緑の豊かさ	86.5
2位	排水の便	80.8
3位	交通の便	77.3
4位	風通し、日当たり	76.0
5位	日常の買い物の便	73.6
6位	空気	72.1
7位	公共施設	69.1
8位	公園・遊び場	66.9
9位	医療施設	63.0
10位	防犯や風紀	58.5
11位	騒音や振動の防止	53.5
12位	火災や災害時の安全性	51.5
13位	交通安全対策	47.8
14位	蚊やハエの発生の防止	34.5

表 1 『よい』と感じる割合の順

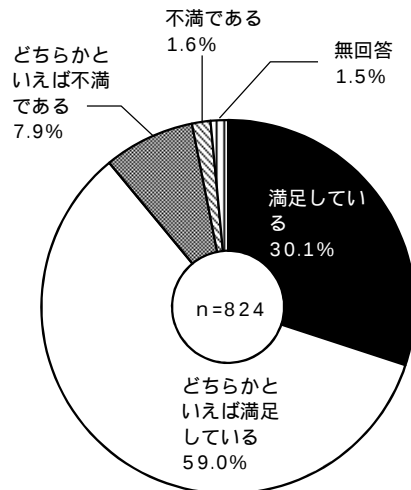
順位	住まいの環境	あまりよくないまたは 非常に悪い (%)
1位	蚊やハエの発生の防止	20.9
2位	騒音や振動の防止	17.3
3位	日常の買い物の便	13.9
4位	交通安全対策	11.9
5位	風通し、日当たり	11.2
6位	医療施設	9.7
7位	交通の便	9.2
8位	公共施設	7.8
9位	空気	7.7
10位	防犯や風紀	7.4
11位	公園・遊び場	6.8
12位	火災や災害時の安全性	5.1
13位	排水の便	4.0
14位	緑の豊かさ	2.1

表 2 『よくない』と感じる割合の順

【生活の満足度】について

■現在の生活にどの程度満足しているか（n=824）

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、9割近くが『生活に満足している』と感じている。



「満足している」(30.1%),「どちらかといえば満足している」(59.0%)を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、9割近く(89.1%)を占める。

また、「不満である」(1.6%),「どちらかといえば不満である」(7.9%)を合わせた『生活に不満を感じる』割合は、1割に満たない(9.5%)。

図 5 生活の満足度

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「50歳代」(91.3%)が最も高く、「60歳代」(84.6%)が最も低い。

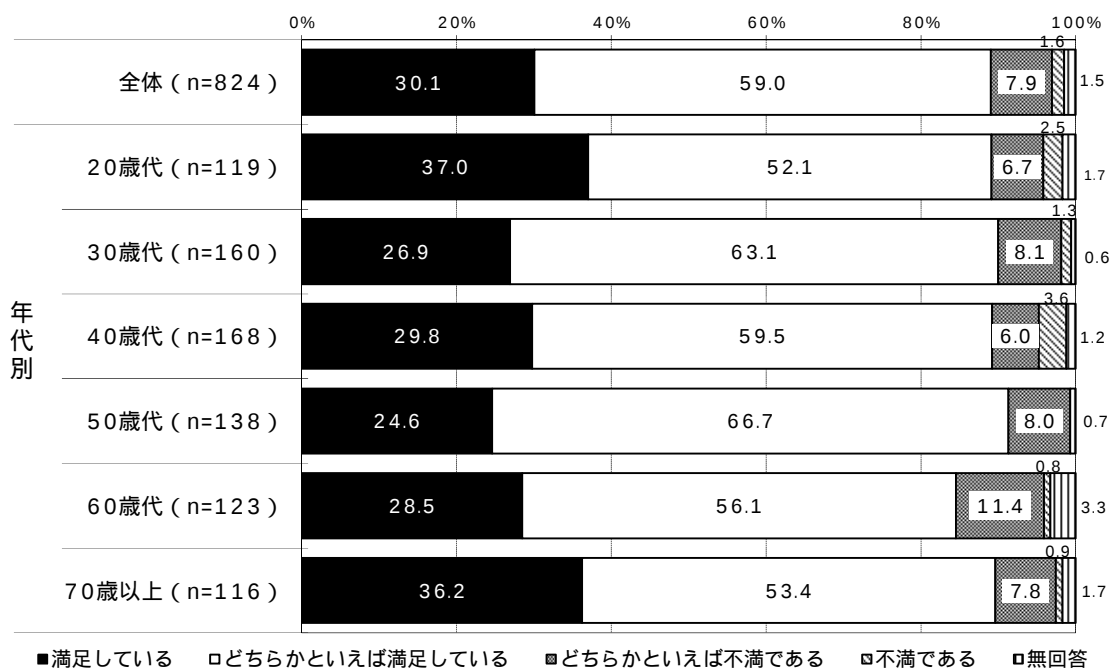
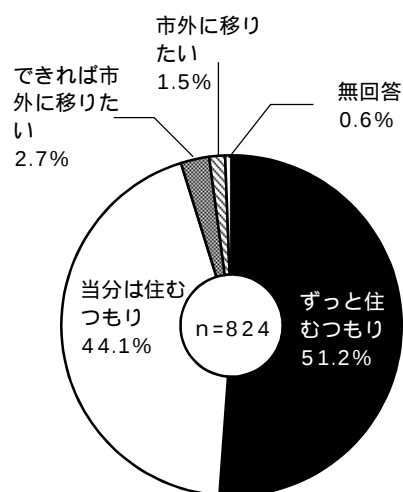


図 6 生活の満足度（年代別）

【定住意向】について

■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=824)

「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせると、9割半ばが『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。



「ずっと住むつもり」(51.2%), 「当分は住むつもり」(44.1%)を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、9割半ば(95.3%)を占める。

また、「市外に移りたい」(1.5%), 「できれば市外に移りたい」(2.7%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、4.2%である。

図 7 定住意向

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」(98.3%)が最も高く、「20歳代」(84.9%)が最も低い。

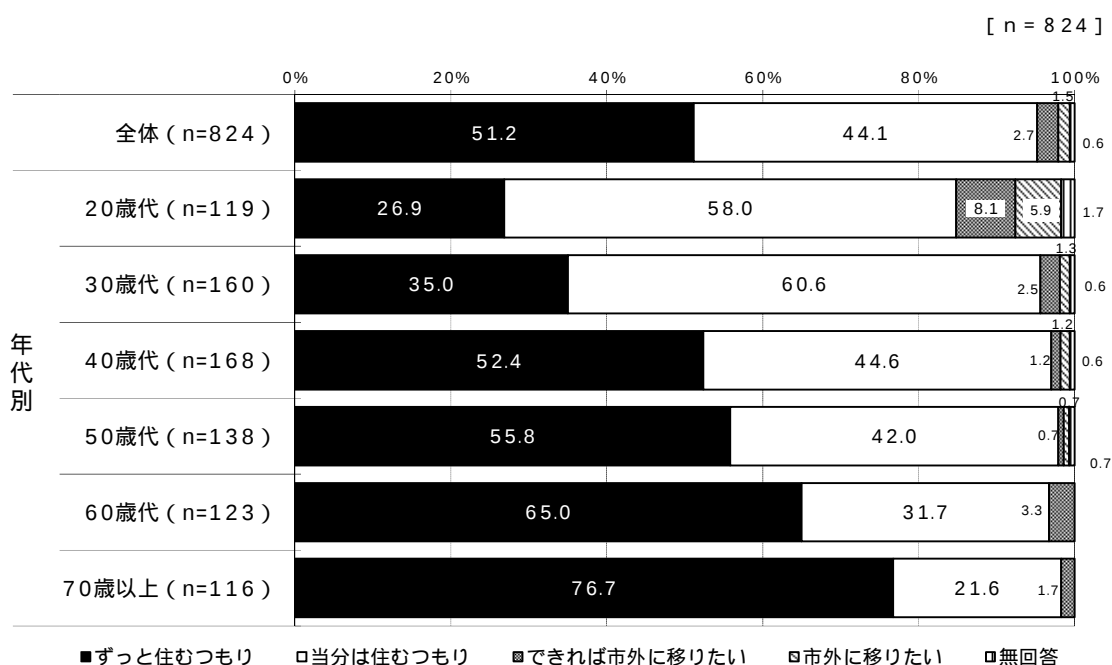
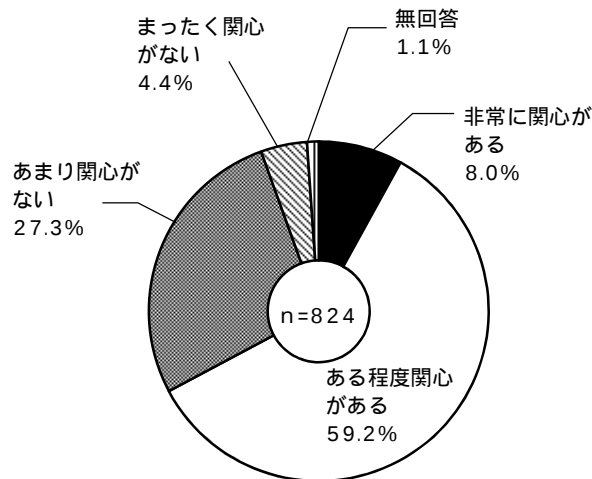


図 8 定住意向 (年代別)

【市政に対する関心度】について

■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=824)

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせると、6割半ばが市政に関心を持っている。



「非常に関心がある」(8.0%), 「ある程度関心がある」(59.2%)を合わせた『市政に関心がある』割合は67.2%で、6割半ばが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく関心がない」(4.4%), 「あまり関心がない」(27.3%)を合わせた31.7%である。

図9 市政に対する関心度

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70歳以上」(82.8%)が最も高く、「20歳代」(43.7%)が最も低い。

[n = 824]

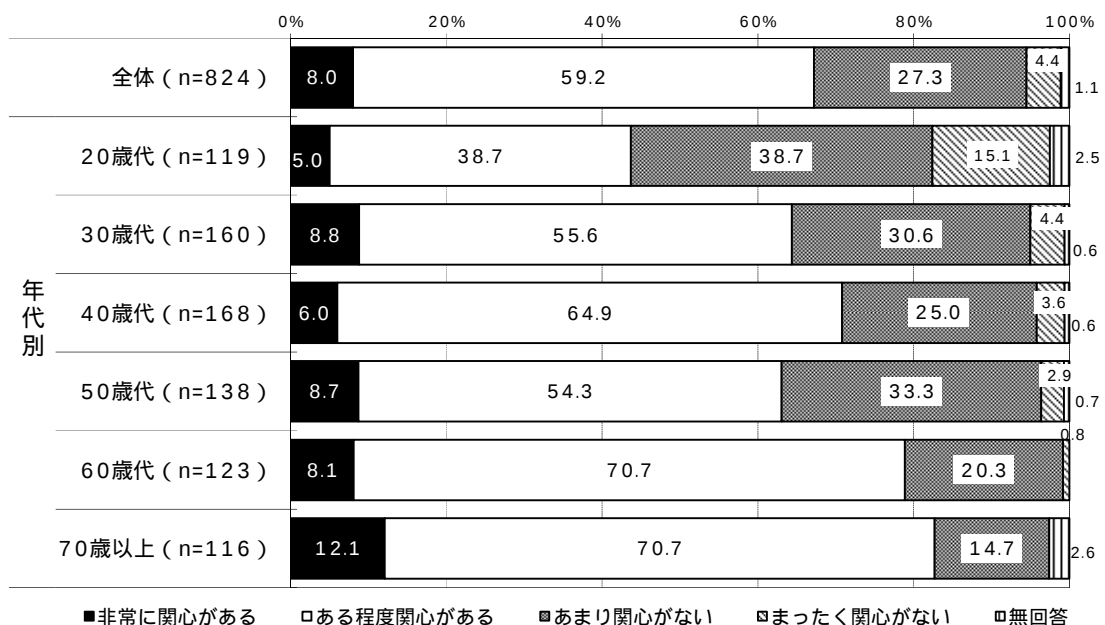


図10 市政に対する関心度(年代別)

【市への要望】について

■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと（n=824：複数回答）

市への要望として、「高齢者福祉対策」（35.2%）、「防犯・風紀対策」（23.7%）の順に高くなっている。これらに続いて「市民の健康管理対策」（18.4%）、「清掃・環境整備対策」（15.7%）、「道路の整備」と「保育行政の充実」（14.3%）の順となっている。

[n = 824 : 複数回答]

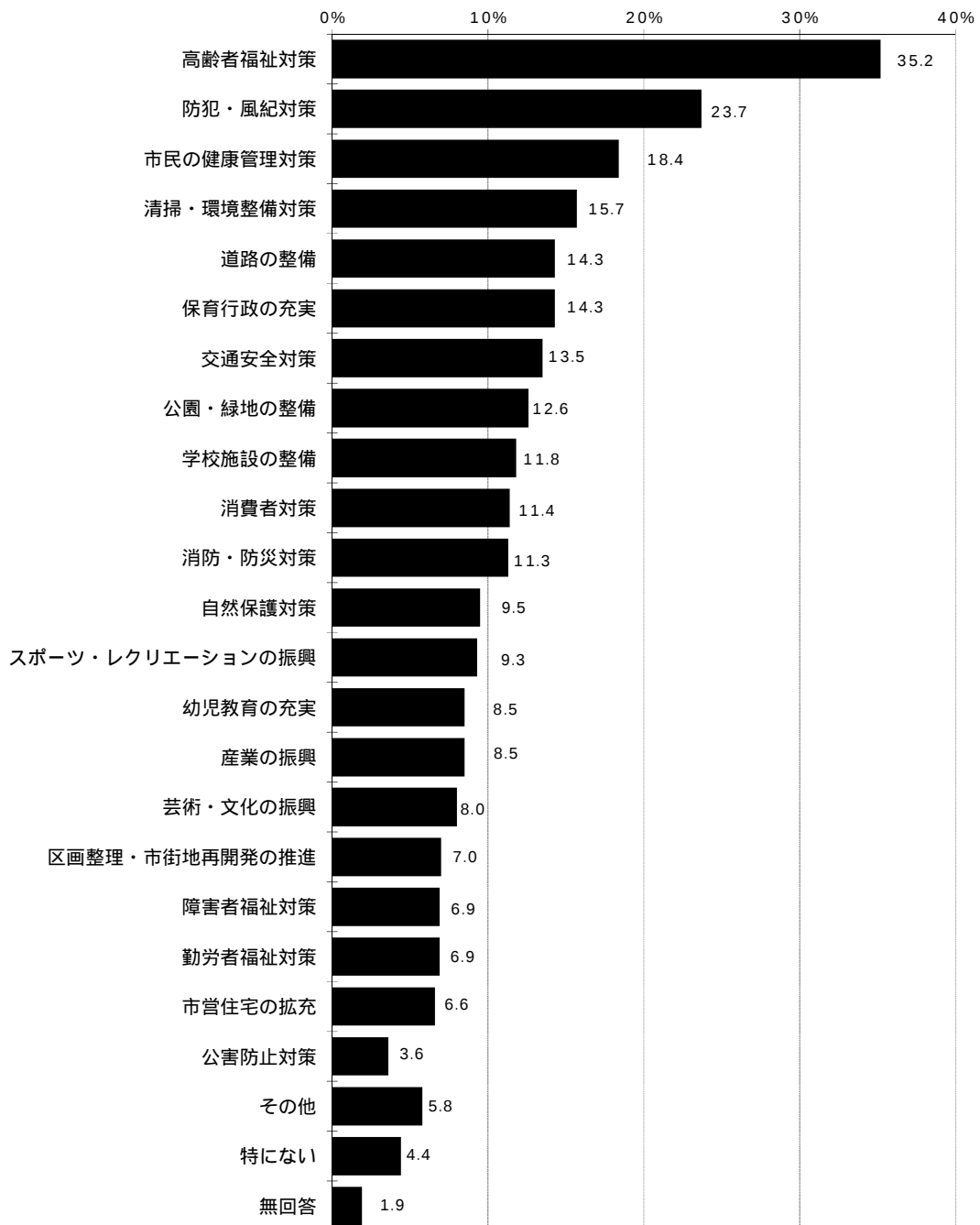


図 11 市への要望

上位5項目について平成18年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は、常に1位となっている。「防犯・風紀対策」は、常に上位3位に入っている。3位の「市民の健康管理対策」は、毎年上位5項目に含まれている。「清掃・環境整備対策」は、平成24年度のみ上位5項目から外れていた。5位の「道路の整備」は、今年度初めて上位5位以内に入った。「保育行政の充実」は、昨年度に続き5位となっている。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年	824	高齢者福祉対策 35.2%	防犯・風紀対策 23.7%	市民の健康管理対策 18.4%	清掃・環境整備対策 15.7%	道路の整備/ 保育行政の充実 14.3%
26年	844	高齢者福祉対策 41.6%	防犯・風紀対策 29.1%	市民の健康管理対策 18.5%	清掃・環境整備対策 16.1%	保育行政の充実 14.3%
25年	836	高齢者福祉対策 38.2%	防犯・風紀対策 24.5%	清掃・環境整備対策 18.7%	市民の健康管理対策 17.5%	消防・防災対策 14.2%
24年	846	高齢者福祉対策 35.6%	防犯・風紀対策 28.1%	市民の健康管理対策 17.8%	交通安全対策 17.3%	消防・防災対策 15.2%
23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策/ 消費者対策 15.7%
21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%

表3 経年推移（上位5位）

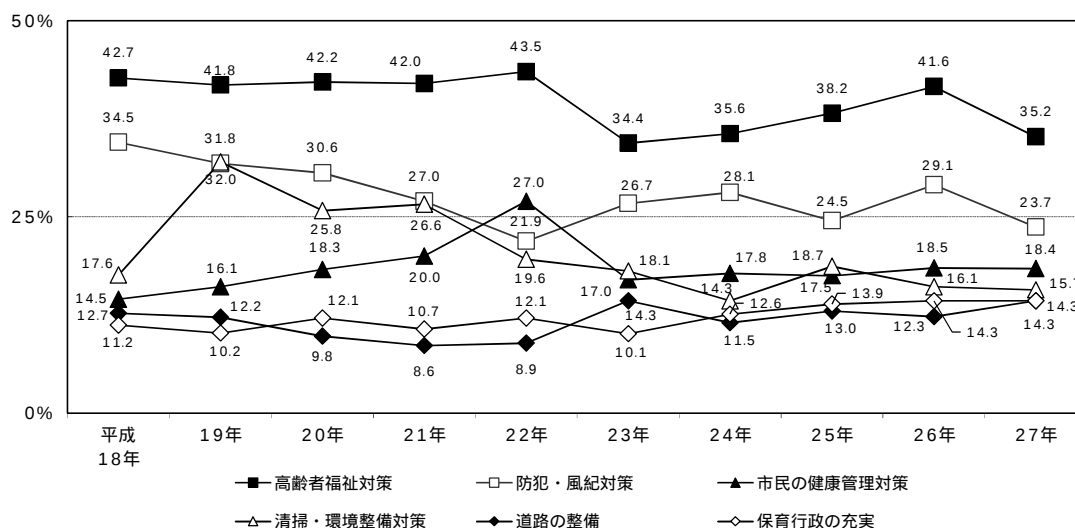


図12 経年推移(上位5位)

【広報・情報発信】について

■ 行政情報を入手するために利用する手段（n=824：複数回答）

「市の広報紙「広報ふちゅう」」（75.8%）が7割半ばを占め最も高い。次いで、「市の公式ホームページ」（30.3%）、「友人・知人・家族など（口コミ）」（25.4%）、「わたしの便利帳」（22.0%）と続いている。

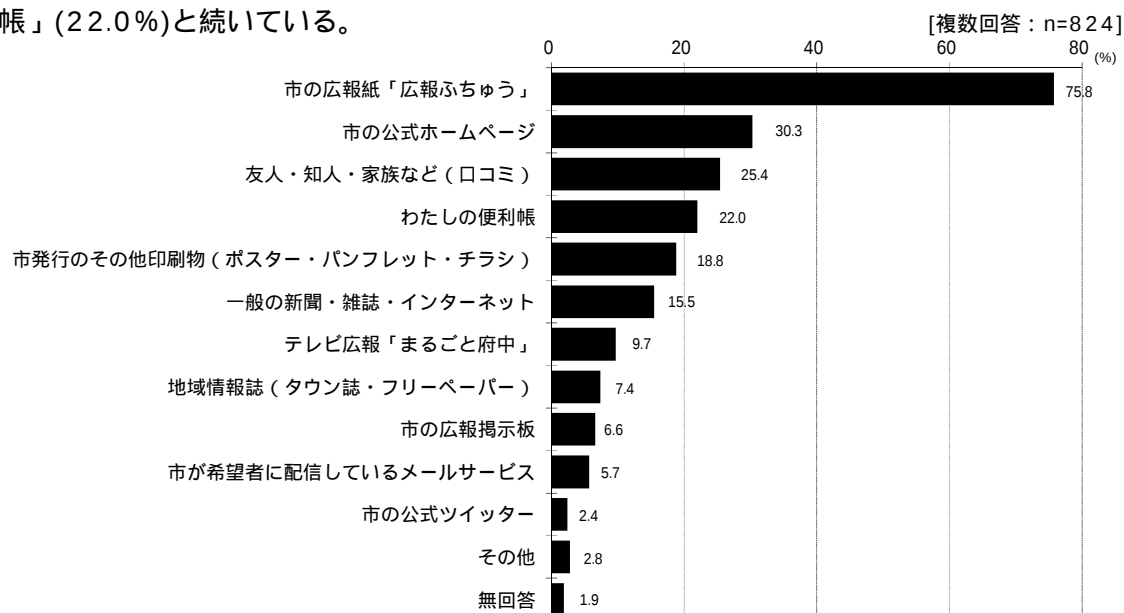


図 13 行政情報の入手手段

■ 「広報ふちゅう」を読む頻度（n=824）

「必ず毎号読んでいます」（20.4%）、「だいたい毎号読んでいます」（29.5%）、「ときどき読んでいます」（24.9%）を合わせた「広報ふちゅう」を『読んでいます』割合は、7割半ば（74.8%）となっている。

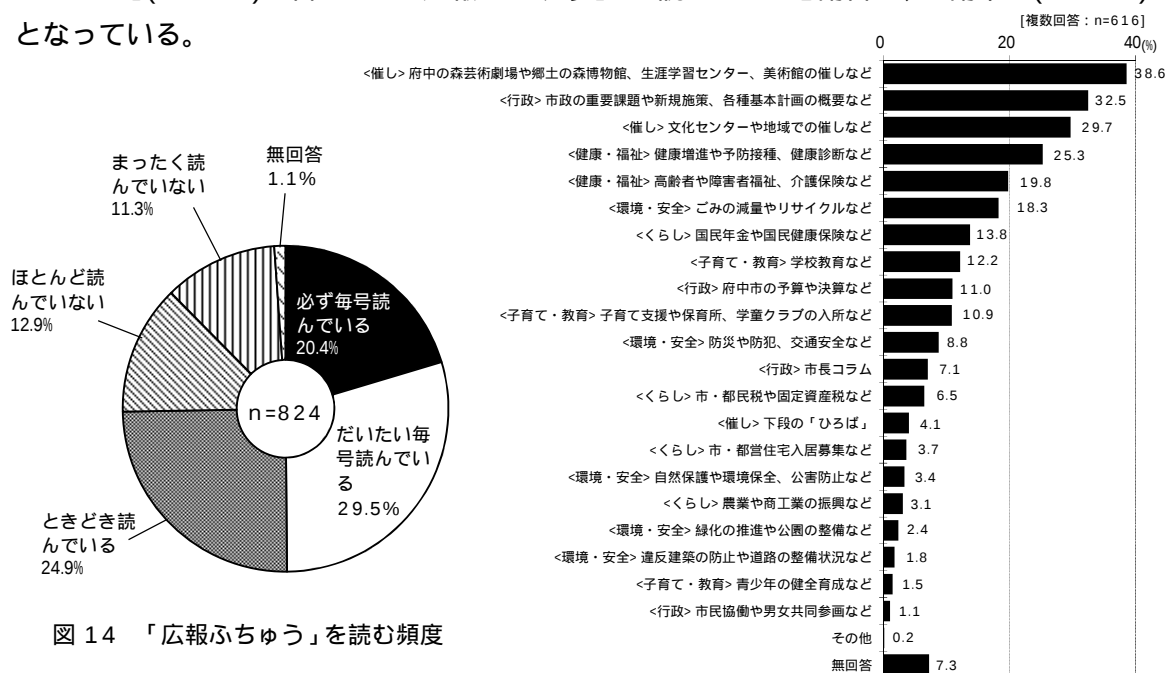


図 14 「広報ふちゅう」を読む頻度

「必ず毎号読んでいます」「だいたい毎号読んでいます」「ときどき読んでいます」を回答した回答者を対象とする

表 4 「広報ふちゅう」で興味を持って読む記事

■「広報ふちゅう」で今後工夫してほしいこと（n=824：複数回答）

「今のままでよい」(34.6%)が3割半ばを占め、最も高い割合となっている。次いで、「市民や地域など身近な話題を取り上げる」(32.0%)、「人物・人気のある場所・特色のある取組など旬の話題に着目した特集記事を掲載する」(28.2%)の順で高くなっている。

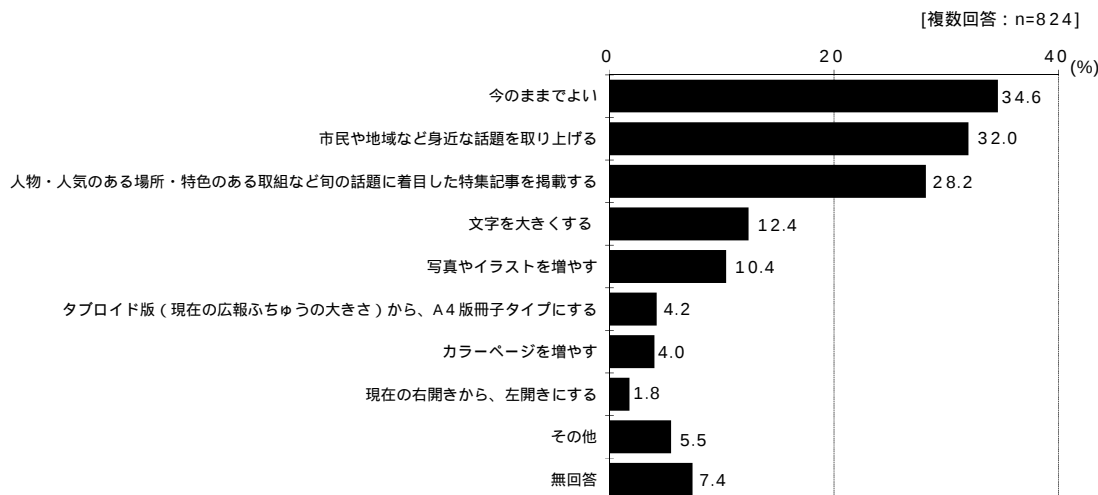


図 15 「広報ふちゅう」で今後工夫してほしいこと

■「広報ふちゅう」の発行頻度（n=824）

「現行のまま、月3回発行する」(35.9%)が3割半ばを占めて最も高い。次いで、「紙面を充実させて、月2回発行する」(26.1%)、「紙面を充実させて、月1回発行する」(19.9%)の順になっている。

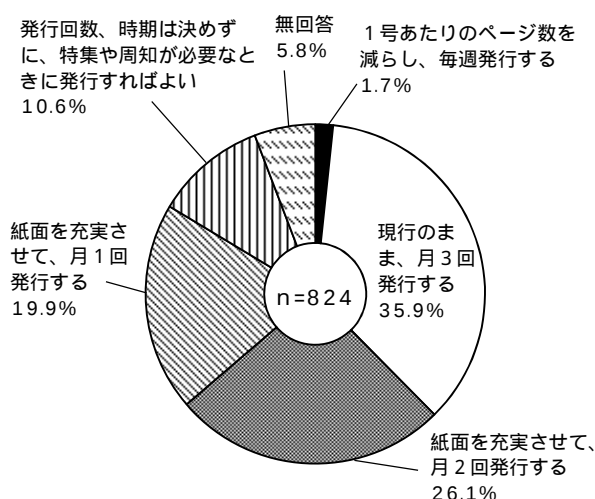


図 16 「広報ふちゅう」の発行頻度

【公共施設のより効率的かつ効果的な運営】について

■ 府中駅周辺に設置されている公共施設の見直し方法（n=824）

それぞれの見直し方法で最も高い割合の施設は、『この施設はよく利用するため、費用をかけて改修して、このまま維持する』では「中央図書館」(35.8%)、『類似した施設がないため、費用をかけて改修して、このまま維持する』では「保健センター」(18.1%)、『その他の理由により、費用をかけて改修して、このまま維持する』では「保健センター」(10.4%)、『類似した施設があれば、他の公共施設に代えて活用する』では「(旧)保健センター分館」(13.7%)、『類似した施設があれば、民間事業者売却や貸付を行い、収入を得る』では「(旧)保健センター分館」(11.4%)となっている。

『利用したことが無いため、よくわからない』は、「ふれあい会館」(58.5%)、「教育センター」(57.4%)、「宮町図書館」(50.6%)で5割を超えている。

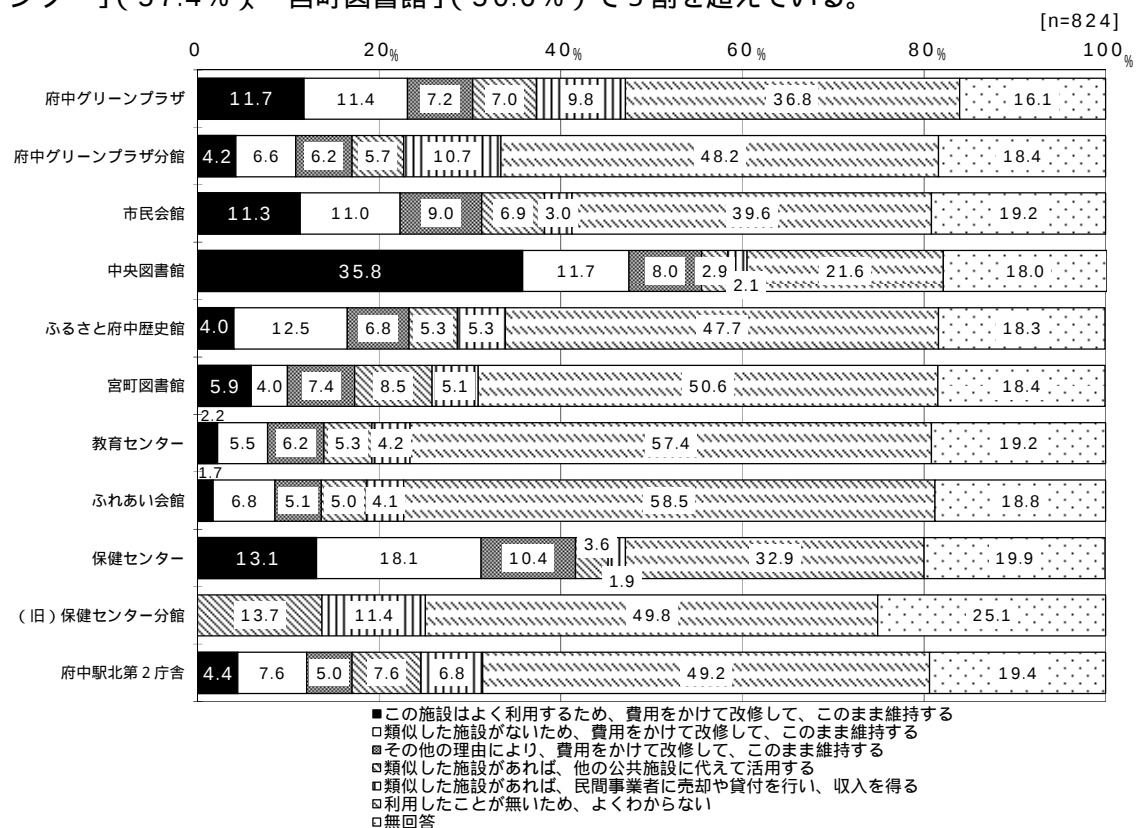


図 17 府中駅周辺公共施設の見直し方法

[n=824] (%)

施設名	この施設はよく利用 するため、費用をか けて改修して、この まま維持する	類似した施設がない ため、費用をかけて 改修して、このまま 維持する	その他の理由によ り、費用をかけて改 修して、このまま維 持する	類似した施設があれ ば、他の公共施設に 代えて活用する	類似した施設があれ ば、民間事業者に売 却や貸付を行い、収 入を得る	利用したことが無い ため、よくわからな い	無回答
府中グリーンプラザ	11.7	11.4	7.2	7.0	9.8	36.8	16.1
府中グリーンプラザ分館	4.2	6.6	6.2	5.7	10.7	48.2	18.4
市民会館	11.3	11.0	9.0	6.9	3.0	39.6	19.2
中央図書館	35.8	11.7	8.0	2.9	2.1	21.6	18.0
ふるさと府中歴史館	4.0	12.5	6.8	5.3	5.3	47.7	18.3
宮町図書館	5.9	4.0	7.4	8.5	5.1	50.6	18.4
教育センター	2.2	5.5	6.2	5.3	4.2	57.4	19.2
ふれあい会館	1.7	6.8	5.1	5.0	4.1	58.5	18.8
保健センター	13.1	18.1	10.4	3.6	1.9	32.9	19.9
(旧)保健センター分館	—	—	—	13.7	11.4	49.8	25.1
府中駅北第2庁舎	4.4	7.6	5.0	7.6	6.8	49.2	19.4

表 5 府中駅周辺公共施設の見直し方法

【大規模災害発生時における心配事や不安事項等】について

■ 災害時自宅にいて、心配や不安に思うこと（n=824：複数回答）

「市が何をどこまでしてくれるのかわからない」(66.1%)が6割半ばを占め最も高い。次いで、「外出中の家族の安否をどのように確認したらいいのか」(48.2%)、「家が倒壊してしまうのではないかな」(38.1%)、「家が火事になってしまうのではないかな」(37.0%)の順で高くなっている。

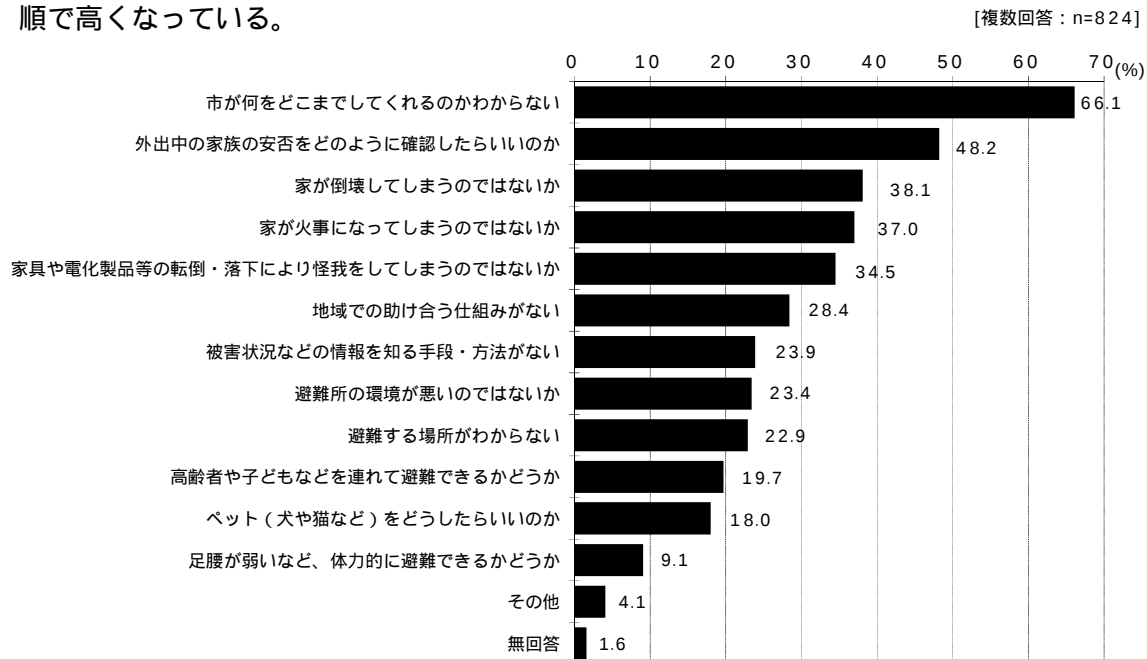


図 18 災害時自宅で心配や不安に思うこと

■ 災害時お住まいの地域で、心配や不安に思うこと（n=824：複数回答）

「木造住宅が多く火災が発生する危険がある」(28.9%)が3割近くを占めて最も高い。「避難所の行き方を示す看板がない」(27.3%)、「高齢者や障害のある人など、避難の際に支援が必要となる方が多い」(21.5%)、「防災行政無線が聞こえにくい」(20.6%)と続いている。

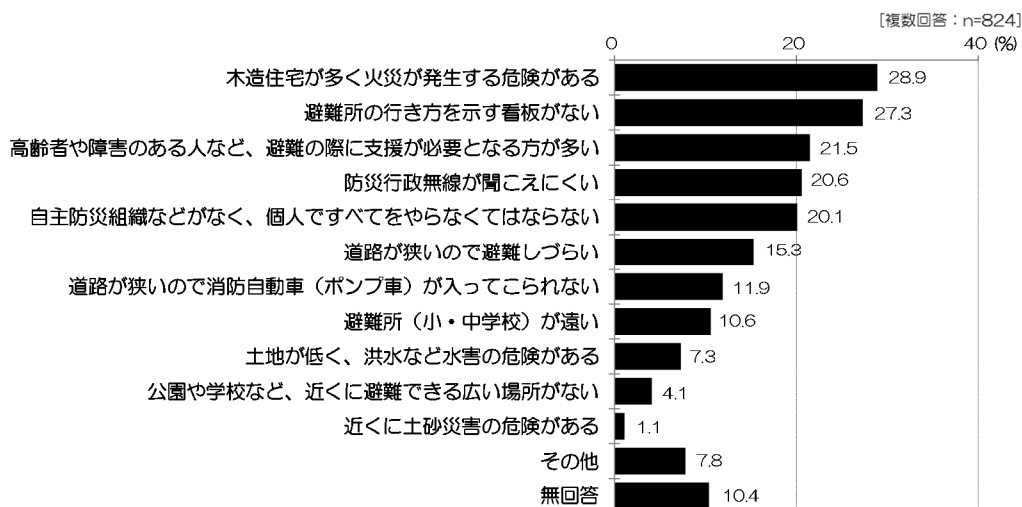


図 19 災害時地域で心配や不安に思うこと

【府中市防災ハンドブック】について

■「府中市防災ハンドブック」を知っているか（n=824）

「知っているが、よく読んでいない」（43.6％）が4割を超え最も高い。また、「知らない」（39.3％）も4割近くで、高い割合を占めている。

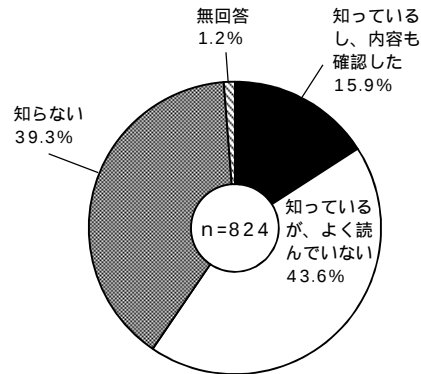


図 20 『府中市防災ハンドブック』を知っているか

■防災対策への取り組み（n=824：複数回答）

「以前から対策に取り組んでいる」（44.1％）が4割半ばを占める。一方、「何もしていない」（40.8％）も4割を超えている。

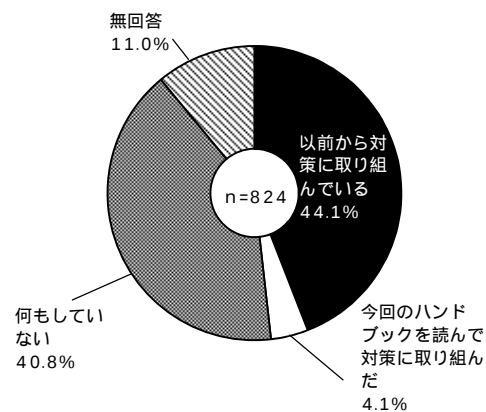


図 21 防災対策への取り組み

[複数回答：n=397]	
大規模災害に備えた対策	割合(%)
非常用持出品（懐中電灯や携帯ラジオ、救急医療品など）を用意している	71.8
非常用の食料や飲料水、生活必需品等を備蓄している	71.8
家具を転倒防止金具などで固定している	44.6
消火器を準備している	40.1
家族で避難する場所を決めている	39.3
家族間で災害発生時の連絡方法を決めている	19.9
防災訓練などに参加している	15.1
窓や食器棚などのガラスの飛散防止対策を行っている	13.4
家の耐震補強や不燃化をしている	12.1
地域の自主防災組織に加入している	1.8
その他	0.5
(無回答)	1.3

「以前から対策に取り組んでいる」「今回のハンドブックを読んで対策に取り組んだ」を回答した回答者を対象とする

表 6 大規模災害に備えた対策

[複数回答：n=336]	
防災対策に取り組んでいない理由	割合(%)
どのような防災対策をすればいいかわからないから	32.1
特に理由はない	27.4
これから取り組もうと思っているから	25.3
防災対策に取り組む時間的な余裕がないから	22.9
防災用品等を購入する金銭的な余裕がないから	18.8
避難所に行けばどうかなと思っているから	10.4
府中市に大規模災害が発生すると思っていないから	8.6
対策の必要性を感じないから	3.0
その他	4.2
(無回答)	0.3

「何もしていない」を回答した回答者を対象とする

表 7 防災対策に取り組んでいない理由

■ 防災について理解を深めたいこと（n=824：複数回答）

「大地震により府中市に起こりうる被害や影響について」(57.8%)が5割半ばを超えている。「大地震発生時の行動や避難方法について」(41.7%)「被災後の避難所や自宅での生活について」(41.1%)が4割を超え続いている。

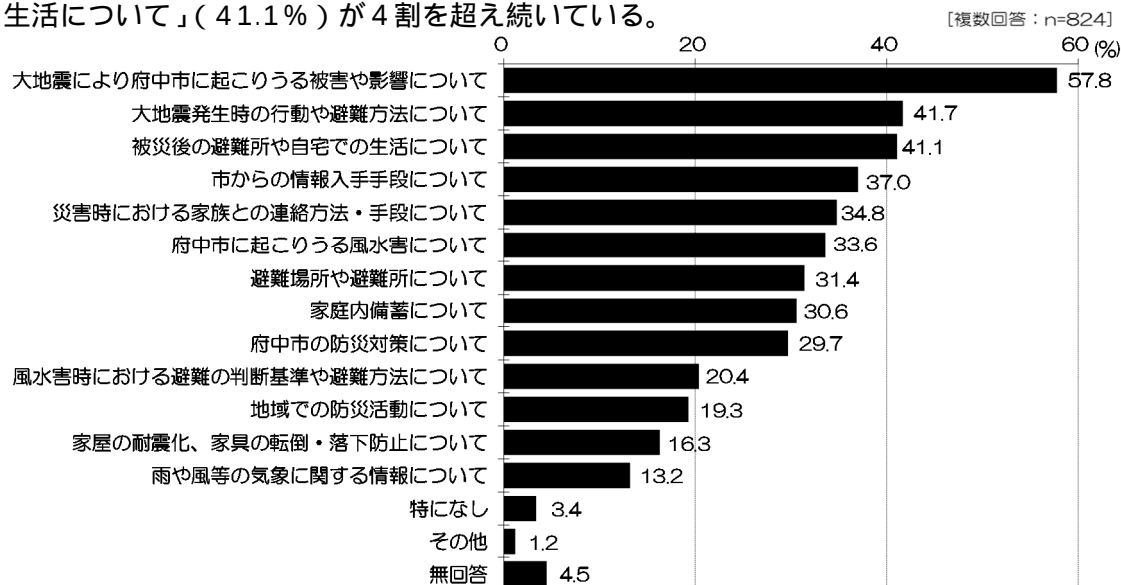


図 22 防災について理解を深めたいこと

【市民協働の推進】について

■ 「協働」という言葉を知っているか（n=824）

「知らない」(62.9%)は6割を超えている。「聞いたことがある」(29.6%)は3割近くを占めているが、「よく知っている」(6.4%)は1割に満たない。

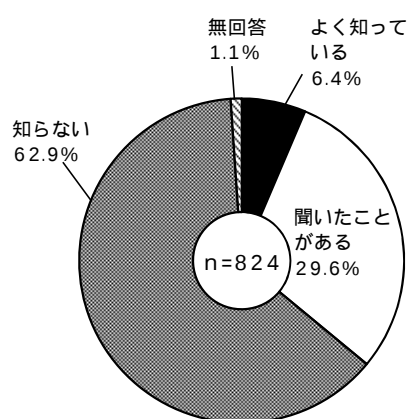


図 23 「協働」という言葉を知っているか

■ 「府中市市民協働の推進に関する基本方針」を知っているか (n=824)

「知らない」(80.5%)が8割を超え、最も高くなっている。次いで、「知っているが、内容は理解していない」(13.8%)、「知っているし、内容もある程度理解している」(2.9%)となっている。また、「基本方針」を知った方法では、「市の広報紙「広報ふちゅう」」(87.7%)が最も多い。

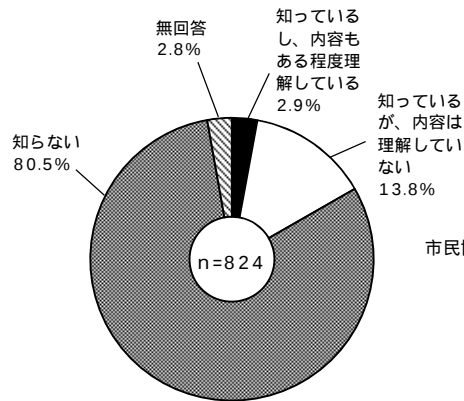
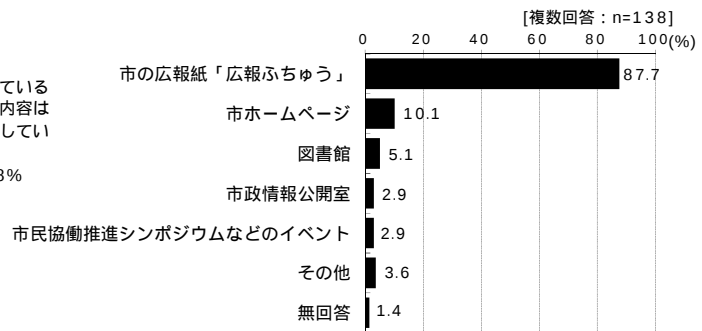


図 24 「基本方針」を知っているか



「知っているし、内容もある程度理解している」「知っているが、内容は理解していない」を回答した回答者を対象とする

図 25 「基本方針」を知る方法

■ 「市民協働都市宣言」を知っているか (n=824)

「知らない」(71.2%)が7割を超え、最も高くなっている。次いで、「知っているが、内容は理解していない」(20.5%)、「知っているし、内容もある程度理解している」(4.4%)となっている。また、「都市宣言」を知った方法では、「市の広報紙「広報ふちゅう」」(78.0%)が最も多い。

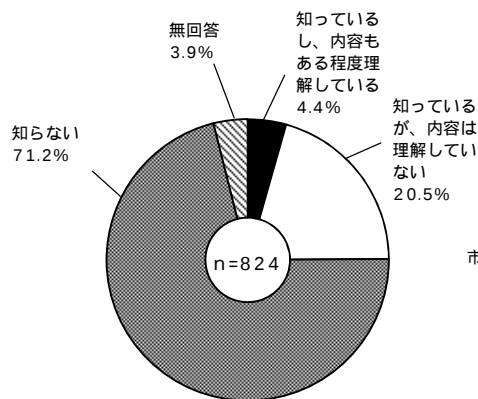
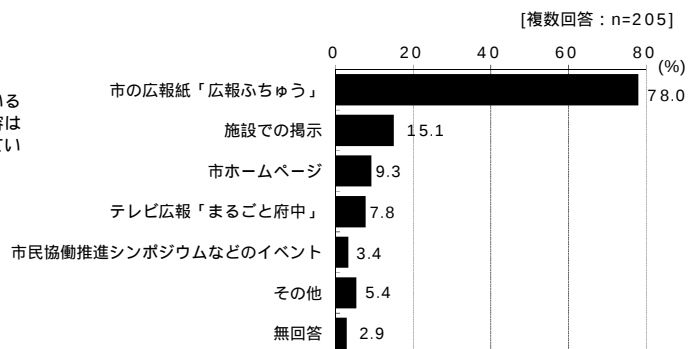


図 26 「都市宣言」を知っているか



「知っているし、内容もある程度理解している」「知っているが、内容は理解していない」を回答した回答者を対象とする

図 27 「都市宣言」を知る方法

■ 「協働によるまちづくり」をどのように思うか (n=824)

「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」(40.7%)、「今後、充実していくことが望ましい」(35.2%)の割合が高くなっている。次いで、「協働は必要だが、まちづくりは行政主導で進めることが望ましい」(7.8%)、「協働には手間や時間がかかると思うので、あまりやりたくない」(4.0%)の順であるが、1割に満たない。

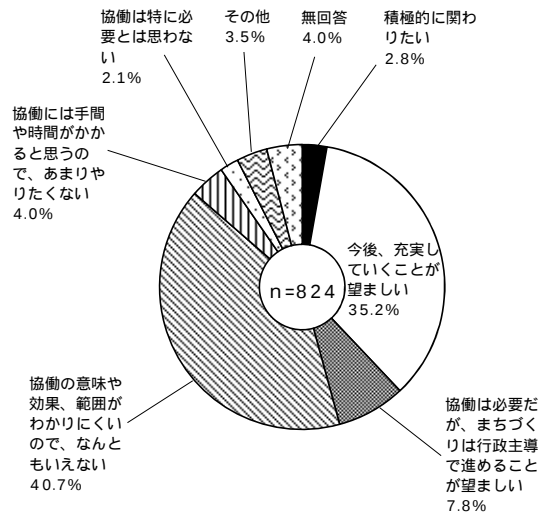


図 28 「協働によるまちづくり」をどのように思うか

■ 「協働によるまちづくり」で市が力を入れるべきこと (n=824)

「市民、団体等の活動に役立つ様々な情報を公開・提供する」(30.2%)が3割を超え、最も高くなっている。次いで、「市民、団体等が、市の施設やまちづくりに関われる仕組みをつくる」(22.0%)、「様々な団体間の交流ができる「場」や「機会」を設ける」(15.7%)、「協働事業に関する相談や支援の窓口を整備する」(10.1%)、「市民、団体等の活動に役立つ講座や研修会等を開催する」(6.3%)の順で高くなっている。

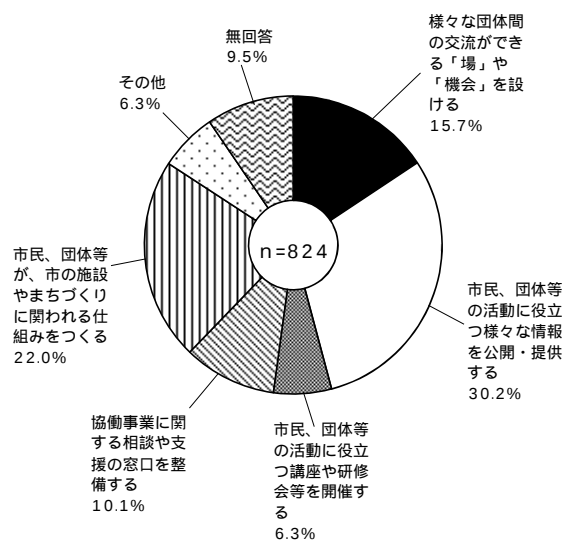


図 29 「協働によるまちづくり」で市が力を入れるべきこと

【スポーツ・運動】について

■ 学生時代にスポーツや運動をしていたことがあるか (n=824)

スポーツや運動をしていたことが「ある」(71.5%)が7割を超えている。

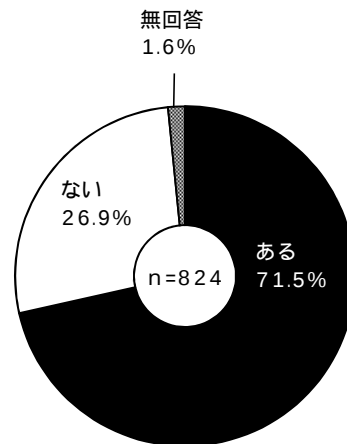


図 30 学生時代のスポーツ・運動の経験

■ この1年間に行ったスポーツや運動の程度 (n=824)

「特にやっていない」(31.6%)が最も高く、次いで「週に1、2回程度」(26.3%)、「月に1、2回程度」(16.7%)、「週に3回以上」(16.6%)の順になっている。また、スポーツ・運動を行う理由では、「健康維持、体力維持のため」(78.9%)が、スポーツ・運動を行わない理由では、「時間がないから」(48.1%)が最も高くなっている。

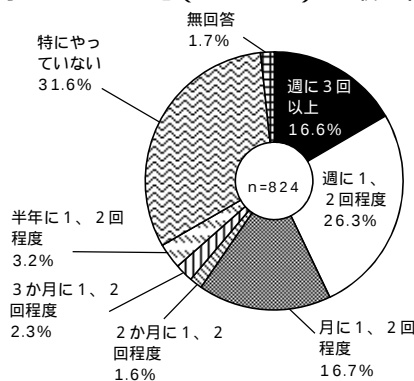


図 31 この1年間に行ったスポーツや運動の程度

[複数回答：n=550]		[複数回答：n=260]	
スポーツ・運動を行う理由	割合(%)	スポーツ・運動を行わない理由	割合(%)
健康維持、体力維持のため	78.9	時間がないから	48.1
楽しみや気晴らしのため	52.2	疲れているから	28.8
友人、仲間との交流のため	27.6	きつかけがないから	23.8
美容・肥満の解消のため	26.7	お金がかかるから	14.2
子どもや家族とのふれあいのため	13.1	特に理由はない	14.2
記録や能力の向上のため	6.9	健康上の理由でできないから	12.7
その他	2.4	高齢だから	11.2
(無回答)	0.9	仲間がいらないから	9.6
「週に3回以上」「週に1、2回程度」「月に1、2回程度」「2か月に1、2回程度」「3か月に1、2回程度」「半年に1、2回程度」を回答した回答者を対象とする		嫌いだから	9.2
		場所、施設がないから	5.0
		指導者がいないから	1.9
		その他	5.4
		(無回答)	2.3

表 8 スポーツ・運動を行う理由

表 9 スポーツ・運動を行わない理由

■ この1年間に行ったスポーツや運動は何か（n=824：複数回答）

「散歩・ウォーキング」(47.8%)が最も高い。次いで「サイクリング」と「体操(ヨガ・エアロビクス等含む)」(11.0%)の順になっている。

[n = 824 : 複数回答]

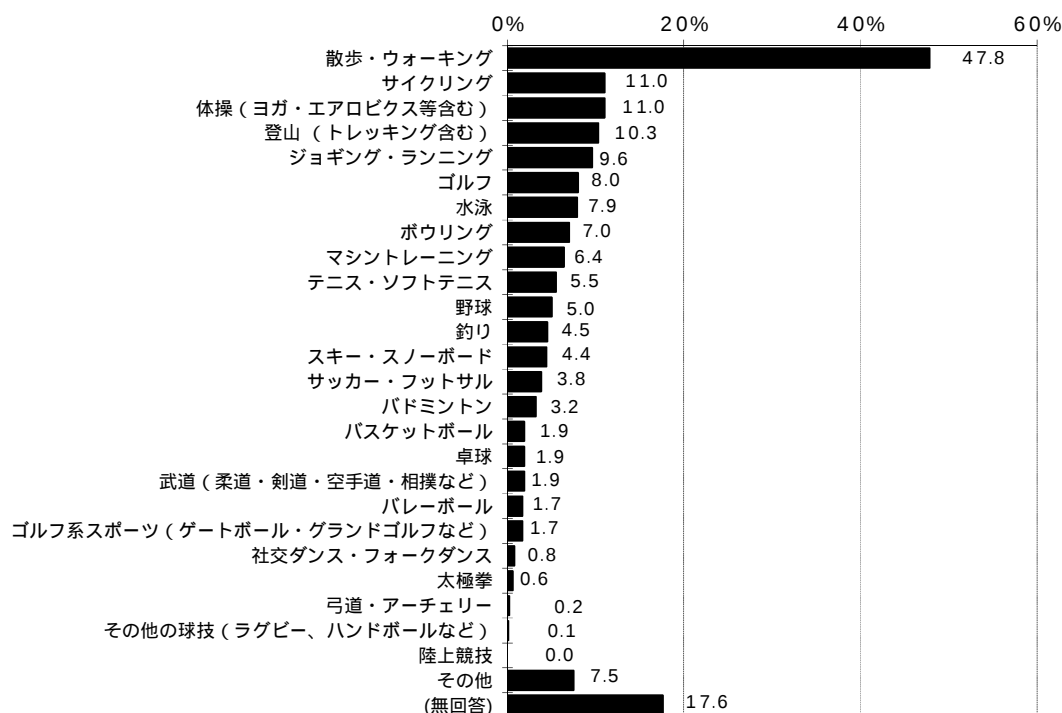


図 32 この1年間に行ったスポーツ・運動

■ 今後行ってみたいスポーツや運動は何か（n=824：複数回答）

「散歩・ウォーキング」(26.5%)が最も高い。次いで「体操(ヨガ・エアロビクス等含む)」(18.9%)、「水泳」(14.4%)の順になっている。

[n = 824 : 複数回答]

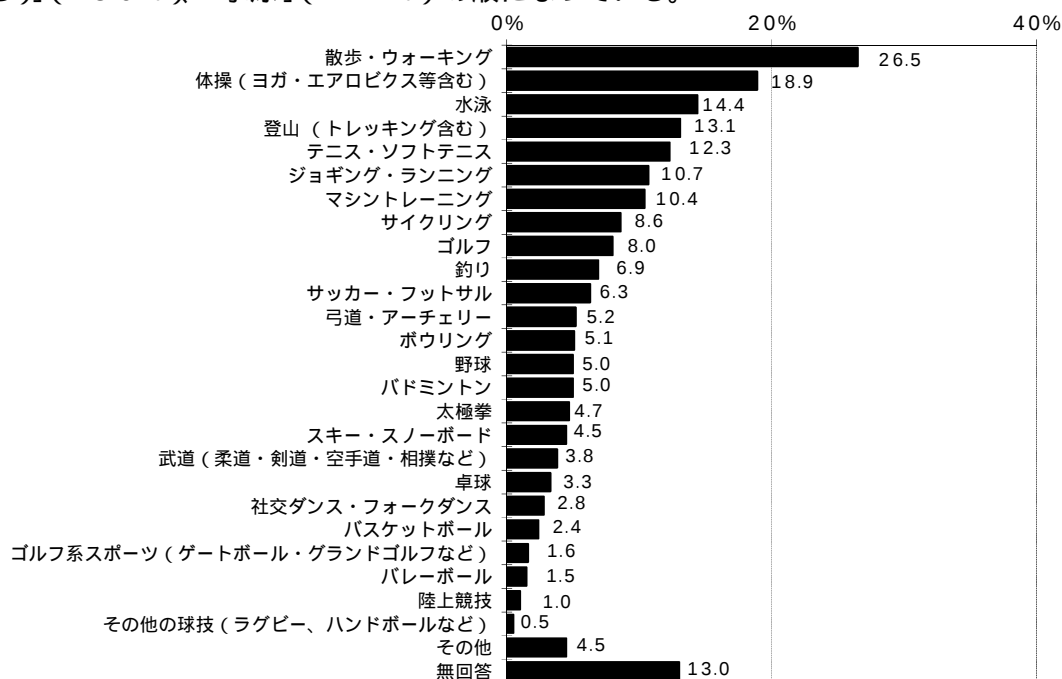


図 33 今後行ってみたいスポーツ・運動

■この１年間にスポーツを支える活動をどの程度行ったか（n=824）

「特にやっていない」（79.5％）が 8 割近くを占め最も高い。次いで「週に 1、2 回程度」と「月に 1、2 回程度」（4.7％）、「半年に 1、2 回程度」（2.4％）の順になっている。

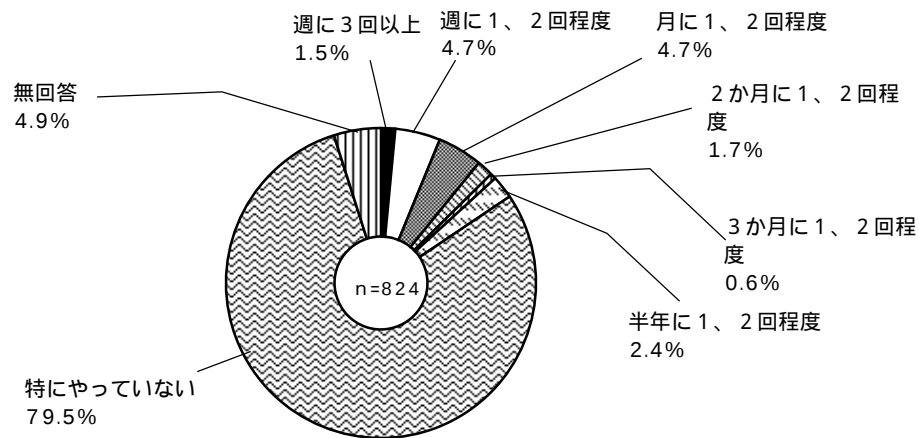


図 3 4 スポーツを支える活動を行った程度

補足説明：スポーツを支える活動とは、クラブ、スポーツ団体等の運営・支援、スポーツイベントのボランティア、お子さんのスポーツ・運動の部活動やクラブ等の運営・支援などの活動

■府中市にあるトップチームの認知度（n=824：複数回答）

「F C 東京（サッカー）」（84.1％）が 8 割半ばを占め最も高い。次いで、「東芝ブレイブルーパス（ラグビー）」（56.1％）、「サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（43.3％）、「府中アスレティックフットボールクラブ（フットサル）」（19.7％）、「トヨタ自動車アルバルク東京（バスケットボール）」（14.3％）の順になっている。

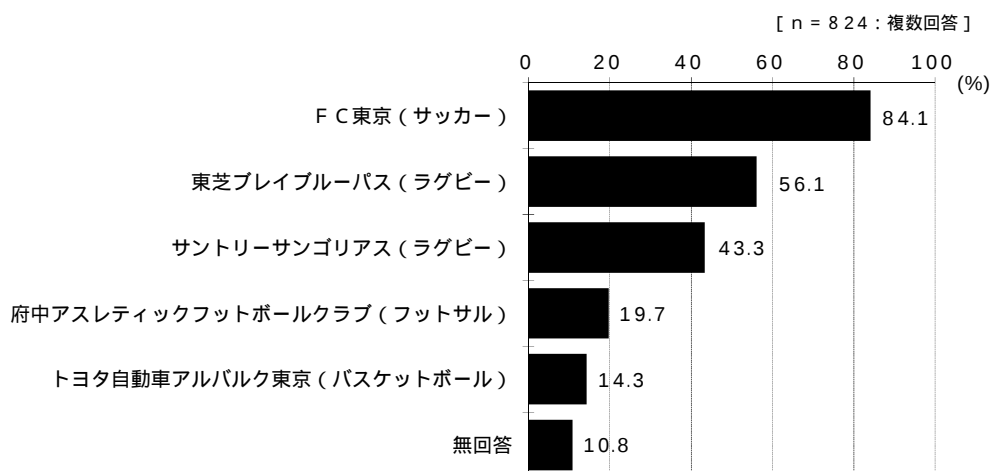


図 3 5 府中市にあるトップチームの認知度

■この1年間にトップチームの試合を観戦したか（n=824：複数回答）

「観戦に行っていない」（82.5％）が8割を超える。会場で観戦した試合の割合では、「FC東京（サッカー）」（8.4％）、「東芝ブレイブルーパス（ラグビー）」（3.6％）、「サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（2.7％）の順で、1割に満たない。

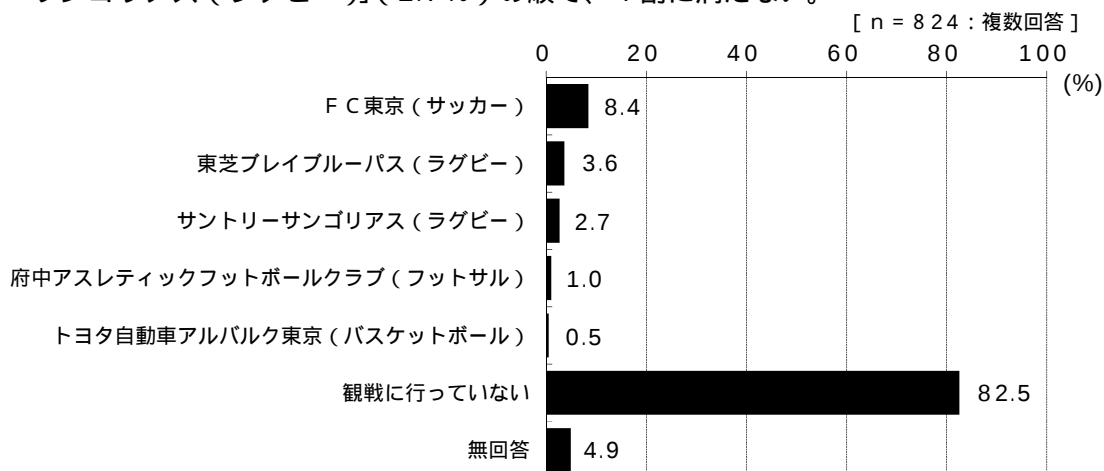
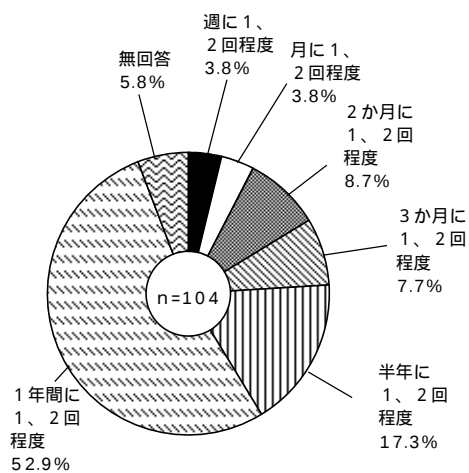


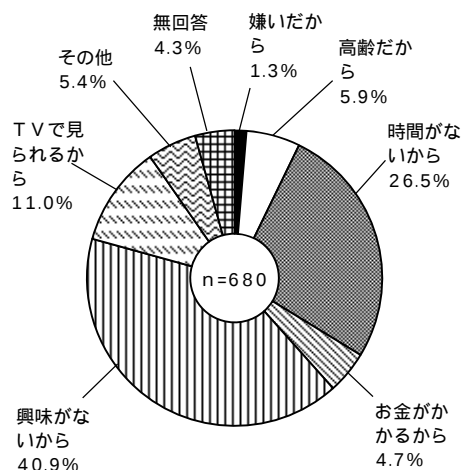
図 36 この1年間に会場で観戦したトップチームの試合

この1年間の試合観戦の頻度は、「1年間に1、2回程度」（52.9％）が5割を超えて最も高い割合となっている。また、試合観戦に行かない理由では、「興味がないから」（40.9％）が最も高く、4割を超えている。



この1年間にトップチームの試合を観戦したと回答した回答者を対象とする

図 37 この1年間の試合観戦の頻度



「観戦に行っていない」を回答した回答者を対象とする

図 38 試合観戦に行かない理由

【健康】について

■ 過去 1 年間に受けた健（検）診等（n=824：複数回答）

「勤め先が実施する健康診査を受けた」（44.5％）が 4 割半ばを占め最も高い。「受けなかった」は、17.2％であった。健（検）診の結果を受けて改善した生活習慣としては、「食事に気を配るようになった」（50.5％）で 5 割を超えている。

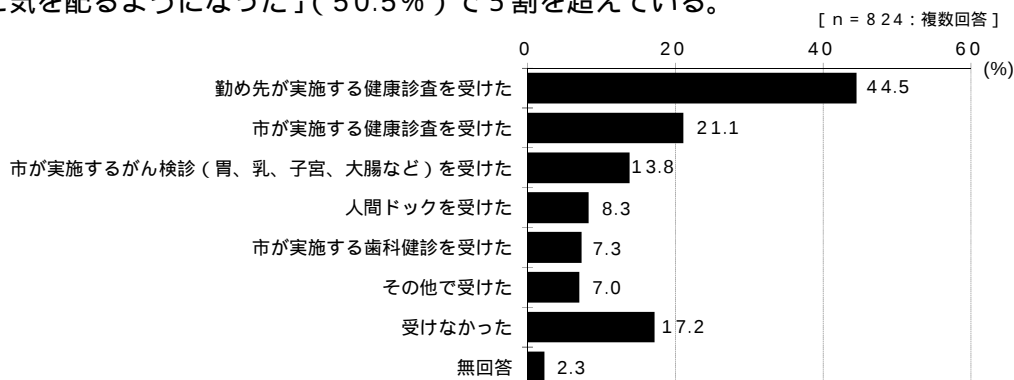


図 39 過去 1 年間に受けた健（検）診等

[複数回答：n=663]

健（検）診の結果を受けて改善された生活習慣や行動	割合 (%)
食事に気を配るようになった	50.5
運動をするようになった	26.5
体重管理をするようになった	24.3
精密検査や経過観察検査を受けるようになった	14.3
口腔ケアをしっかりとるようになった	11.6
休息を心がけるようになった	10.3
お酒の量を見直した	8.3
禁煙した	3.3
改善はできていない	16.3
その他	6.9
(無回答)	4.2

健（検）診等を受けたと回答した回答者を対象とする

図 40 健（検）診後、改善された生活習慣や行動

[複数回答：n=142]

健（検）診を受けなかった理由	割合 (%)
忙しくて時間が合わなかったから	37.3
受診するのが面倒だったから	25.4
実施しているのを知らなかったから	19.7
料金が高いから	9.2
入院・通院中だったから	7.0
健康状態を知るのが怖いから	6.3
健康に自信があるから	4.2
近くに行ける病院がなかったから	1.4
定員があって外れたから	0.7
その他	17.6
(無回答)	0.7

「受けなかった」を回答した回答者を対象とする

図 41 健（検）診を受けなかった理由

■ 健（検）診が受診しやすくなるための条件（n=824：複数回答）

「無料で受けられる」（57.0％）が 5 割半ばを占める。次いで、「土日を受診できる」（42.6％）、「受診場所が選択できる」（41.3％）も 4 割を超えている。



図 42 健（検）診が受診しやすくなるための条件

■ 健康維持・増進に役立つ情報の入手先（n=824：複数回答）

「テレビ、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ」（77.7%）が7割半ばを超え高い。

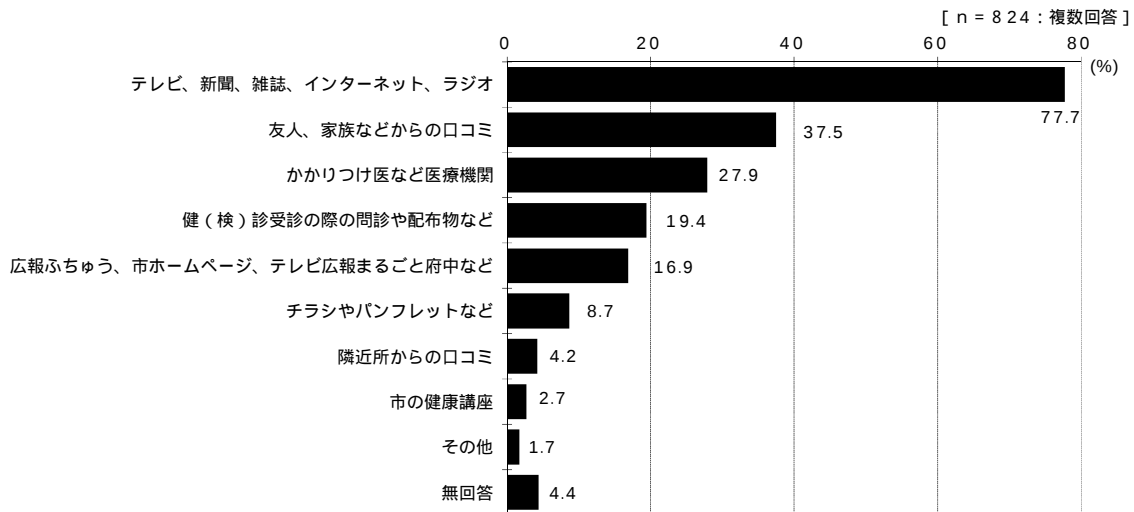


図 43 健康維持・増進に役立つ情報の入手先

■ 地域の人とのかかわりの程度（n=824）

「挨拶をする人がある」（35.7%）が最も高く、次いで「立ち話をする人がある」（25.7%）
「相談し合える人がある」（20.5%）、「つきあいはない」（15.2%）の順となっている。

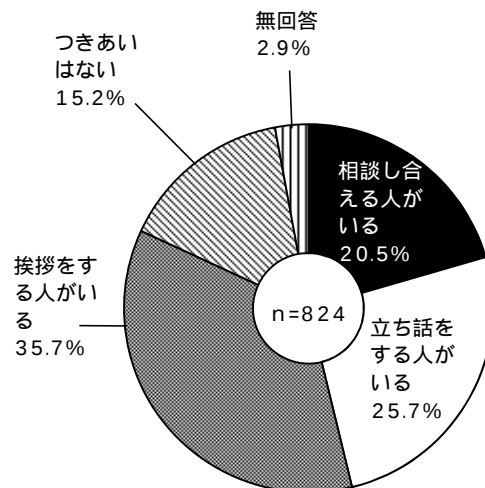


図 44 地域の人とのかかわりの程度

■ 違う世代の方との交流機会（n=824）

「とてもある」（7.9%）と「まあまあある」（26.0%）を合わせた『世代間の交流機会がある』と感じる割合は、3割半ば（33.9%）となっている。一方、「ほとんどない」（39.7%）と「あまりない」（25.2%）を合わせた『世代間の交流機会がない』と感じる割合は、6割半ば（64.9%）となっている。

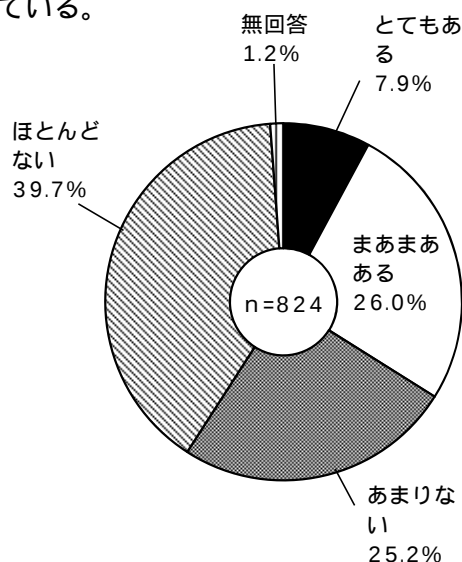


図 45 世代間の交流機会

■ 地域で困ったときに助け合い、支えあうと思うか（n=824）

「そう思う」（13.7%）と「どちらかといえばそう思う」（43.4%）を合わせた『助け合い、支えあうと思う』(57.1%)と感じる割合は、5割半ばを超えている。一方、「そう思わない」（9.1%）と「どちらかといえばそう思わない」（13.0%）を合わせた『助け合い、支えあうと思わない』(22.1%)と感じる割合は、2割を超えている。

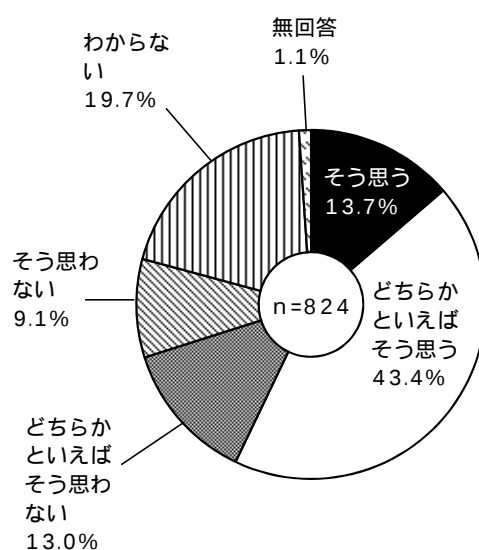


図 46 地域での助け合い

【若者の自立】について

■ 自立していない若者が増えていると思うか (n=824)

「そう思う」(30.1%)と「少しそう思う」(39.3%)を合わせた『増えていると思う』(69.4%)と感じる割合は、7割近くを占めている。一方、「そう思わない」(3.2%)と「あまりそう思わない」(13.8%)を合わせた『増えていると思わない』と感じる割合は、17.0%である。

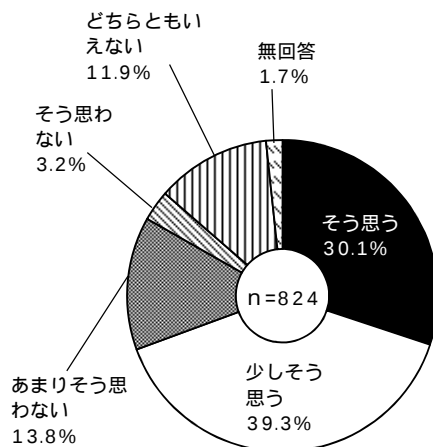


図 47 自立していない若者が増えていると思うか

■ 若者が経済的に自立できる社会だと思うか (n=824)

「そう思う」(35.1%)と「少しそう思う」(39.6%)を合わせた『自立できる社会と思う』(74.7%)と感じる割合は、7割半ば占めている。一方、「そう思わない」(4.4%)と「あまりそう思わない」(13.3%)を合わせた『自立できる社会と思わない』と感じる割合は、17.7%である。

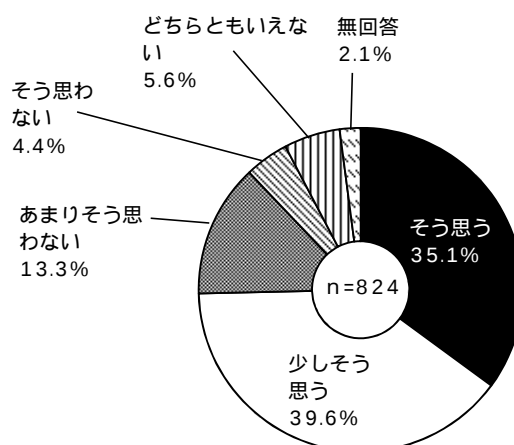


図 48 若者が経済的に自立できる社会だと思うか

■ 「自立した若者の条件」とは何か（n=824：複数回答）

「親から経済的に独立していること」（51.6％）が5割を超え最も高くなっている。次いで、「働いていること」（40.0％）、「学校や職場などで、集団のルールを守りながら社会生活が送れること」（39.8％）、「挨拶など、他の人と円滑なコミュニケーションがとれること」（37.4％）の順で高くなっている。

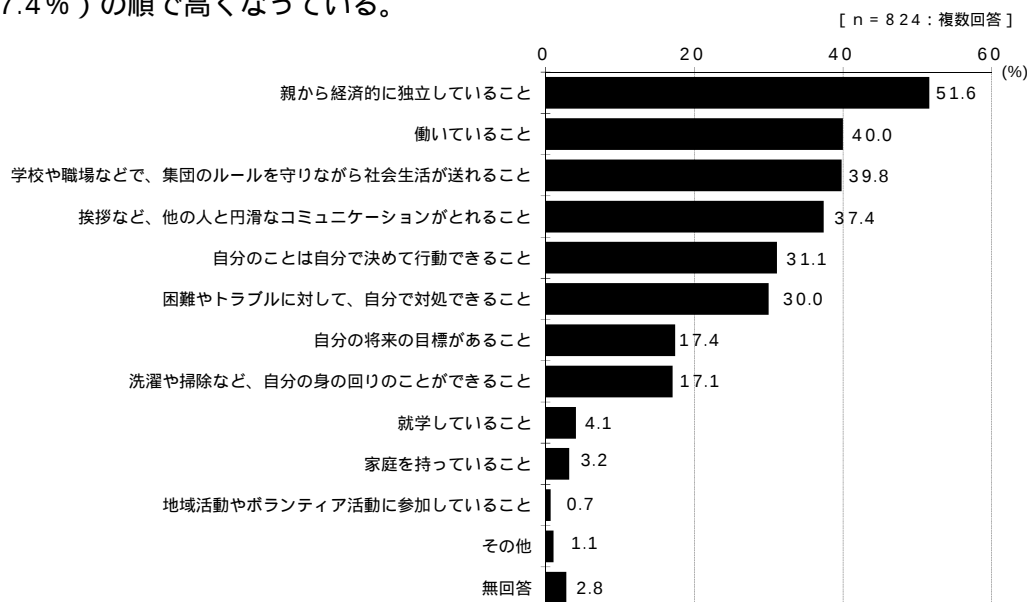


図 49 「自立した若者の条件」とは何か

■ 「ひきこもり」という言葉や状態を知っていたか（n=824）

「言葉を知っているし、ひきこもりの状態も知っている」（72.9％）が、7割を超えている。「知らない」は1.0％である。

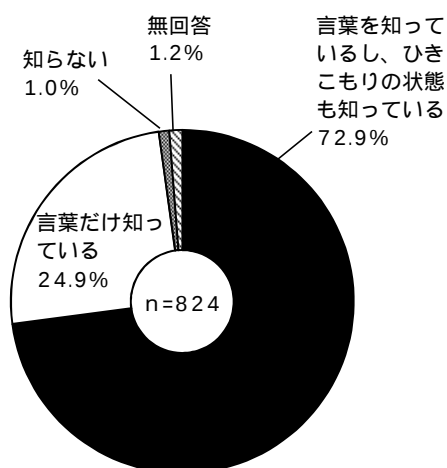


図 50 「ひきこもり」という言葉や状態を知っていたか

- 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか（あなた自身または家族）(n=824)
- 「いる」は、4.2%である。「ひきこもり」の状態にある方の年齢は、「20歳代」(34.3%)、「30歳代」(28.6%)、「50歳代以上」(17.1%)の順で高くなっている。

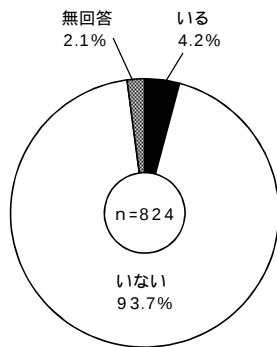
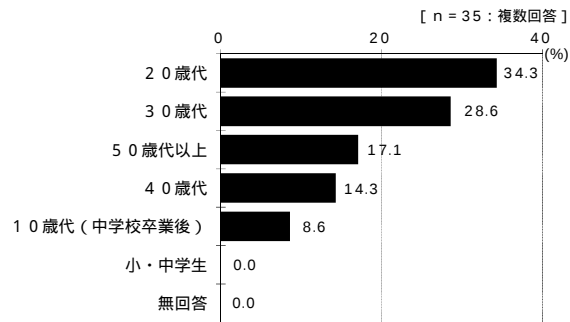


図 51 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか
(あなた自身または家族)



「いる」を回答した回答者を対象とする
図 52 「ひきこもり」状態にある方の年齢
(あなた自身または家族)

- 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか（近所や親戚・知人）(n=824)
- 「いる」は、14.2%である。「ひきこもり」の状態にある方の年齢は、「30歳代」(37.6%)、「40歳代」(22.2%)、「20歳代」(15.4%)の順で高くなっている。

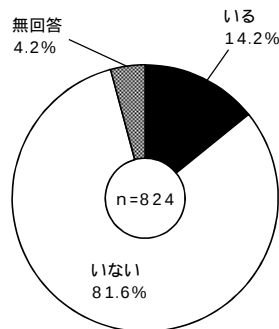
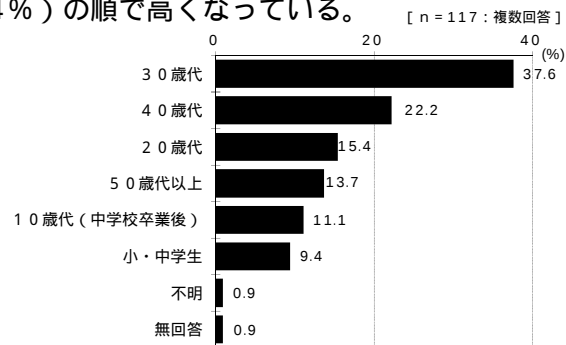


図 53 「ひきこもり」に当てはまる人がいるか
(近所や親戚・知人)



「いる」を回答した回答者を対象とする
図 54 「ひきこもり」状態にある方の年齢
(近所や親戚・知人)

- 「ひきこもり」の背景や考えについてどのように思うか (n=824)
- 「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた、『思う』と感じる割合では、「ひきこもり」の問題は、本人だけでなく家族への支援も必要だと思う」が8割半ば(86.5%)で最も高い。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた、『思わない』と感じる割合では、「ひきこもり」は、必ず自力で立ち直れると思う」が6割を超え(63.1%)高い。

「ひきこもり」に対する思い	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	(無回答)
「ひきこもり」の問題に関心がある	17.1	41.6	19.2	8.0	8.6	5.5
現代社会においては、「ひきこもり」は誰にでも起こることだと思う	31.1	38.3	15.3	7.4	3.9	4.0
「ひきこもり」の人は、甘えているなど本人自身の問題であると思う	14.0	32.9	23.9	14.7	9.2	5.3
「ひきこもり」は、必ず自力で立ち直れると思う	9.1	15.2	29.4	33.7	8.0	4.6
「ひきこもり」は、家庭環境によるものであると思う	17.4	41.3	16.1	8.0	13.1	4.1
「ひきこもり」は、精神疾患によるものであると思う	11.2	40.7	21.1	11.8	10.7	4.6
「ひきこもり」は失敗や挫折の体験によるものであると思う	13.1	46.7	17.6	7.4	10.3	4.9
「ひきこもり」の問題は、本人だけでなく家族への支援も必要だと思う	49.0	37.5	4.5	1.8	2.9	4.2
「ひきこもり」の人は、医療の支援が必要だと思う	25.4	41.5	15.8	5.9	7.2	4.2
「ひきこもり」の問題は、地域での支援が必要だと思う	14.3	35.3	23.3	11.9	10.6	4.6
「ひきこもり」について、身近な場で相談しやすい窓口が必要だと思う	48.2	35.2	5.9	3.3	3.3	4.1

図 55 「ひきこもり」の背景や考えについてどのように思うか

【にぎわいのあるまちづくり】について

■ 府中駅周辺施設の利用頻度（n=824）

「1か月に1回程度」（21.6%）の利用が最も多い。次いで、「主に平日、週1～3回程度」（16.6%）、「2週間に1回程度」（13.2%）、「主に休日、週1～3回程度」（10.3%）、「ほとんど利用しない」（9.7%）と続いている。

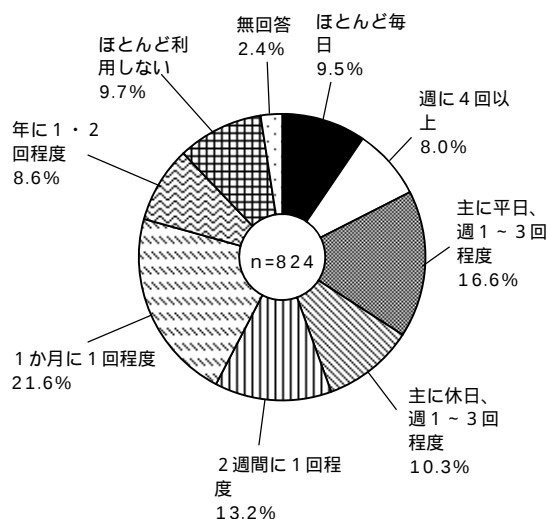


図 56 府中駅周辺施設の利用頻度

■ 府中駅周辺施設の利用目的（n=824：複数回答）

「食料品や日用品などを購入するため」（56.7%）が5割半ばを占めている。次いで、「電車やバスなどの交通機関を利用するため」（43.7%）、「レストランや喫茶店などの飲食店を利用するため」（28.4%）、「市役所や病院などの公益施設を利用するため」（28.3%）、「嗜好品や贈答品などを購入するため」（22.6%）と続いている。

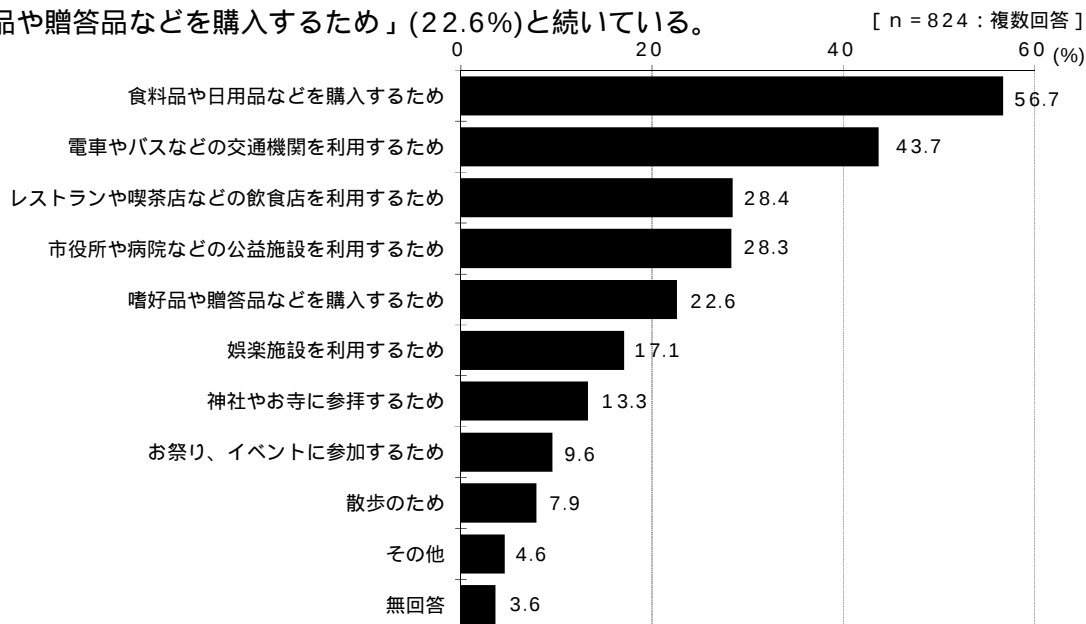


図 57 府中駅周辺施設の利用目的

■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度（n=824）

「1か月に1回程度」(23.7%)の利用が最も多い。次いで、「2週間に1回程度」(18.0%)、「ほとんど利用しない」(13.8%)、「年に1・2回程度」(13.0%)、「主に平日、週1～3回程度」(8.9%)と続いている。

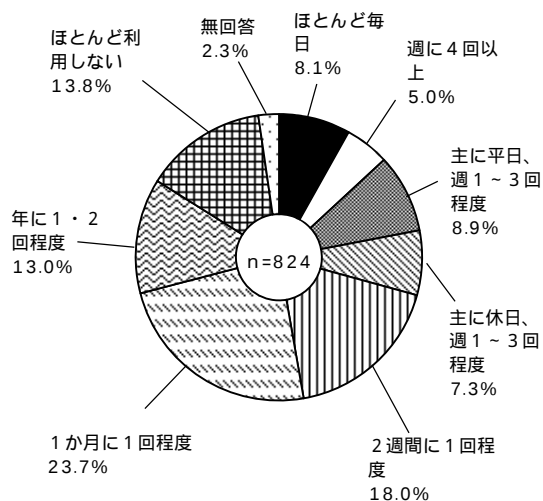


図 58 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度

■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的（n=824：複数回答）

「食料品や日用品などを購入するため」(50.5%)が5割を超えている。次いで、「電車やバスなどの交通機関を利用するため」(47.9%)、「レストランや喫茶店などの飲食店を利用するため」(38.1%)、「嗜好品や贈答品などを購入するため」(27.2%)、「娯楽施設を利用するため」(14.7%)と続いている。



図 59 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的

■ 府中市近隣の主要駅再開発と府中駅周辺のにぎわい (n=824)

「大いに影響がある」(10.2%)と「影響がある」(38.3%)を合わせた、『にぎわいに影響がある』と感じる割合は、4割半ば(48.5%)を超える。また、『にぎわいづくりの対策が必要』と感じる割合は、「大いに必要である」(22.5%)と「必要である」(59.3%)を合わせると、8割を超えて(81.8%)いる。

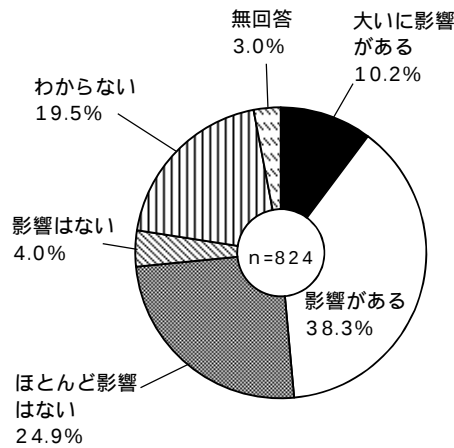
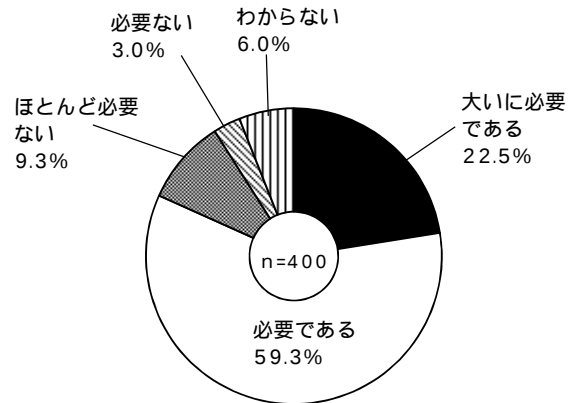


図 60 府中市近隣の主要駅再開発
と府中駅周辺のにぎわい



「大いに影響がある」「影響がある」を回答した回答者を対象とする

図 61 府中駅周辺のにぎわいづくり対策

■ 府中駅周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりへの取り組み (n=824：複数回答)

「商業施設を充実させる」(58.6%)が、5割半ばを超え最も高くなっている。次いで、「自動車・自転車の利用しやすい環境を整備する」(44.2%)、「利用するバスなどの本数や路線の利便を向上させる」(26.2%)、「バリアフリー化や交通安全対策など歩行者に優しい環境を整備する」(21.4%)の順で高くなっている

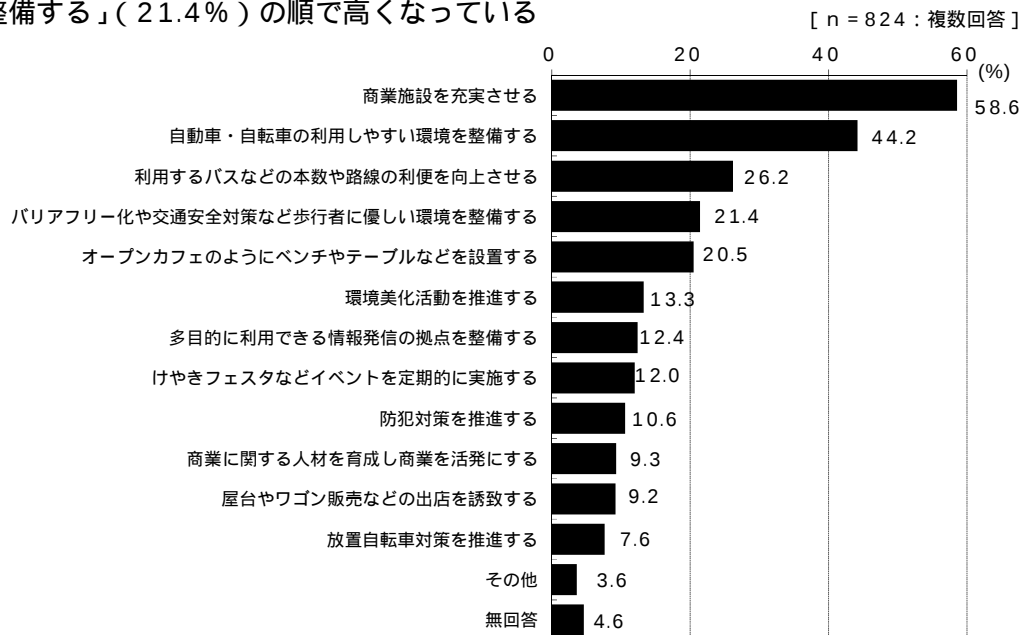


図 62 府中駅周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりへの取り組み

■ 府中市活性化のため今後のまちづくりに期待すること（n=824）

「普段利用する駅前や商店街での買い物のしやすさ」（33.4％）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「道路や駐車場が整備されているなど自動車・自転車の利用のしやすさ」（16.5％）、「緑地の整備や沿道の緑化などみどりゆたかな空間づくり」（10.4％）、「利用する鉄道・バスの本数や路線の便利さ」（8.0％）の順で高くなっている。

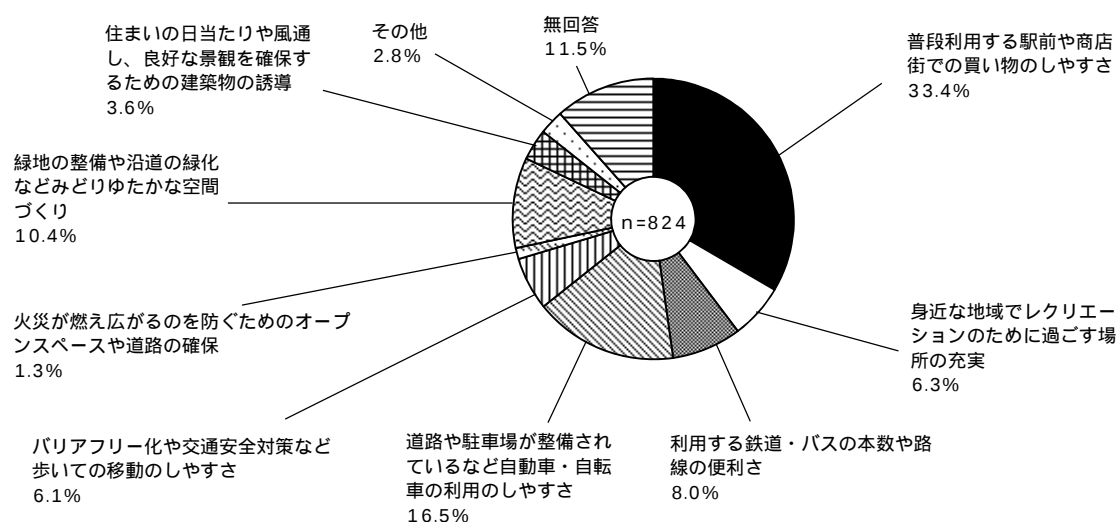


図 63 府中市活性化のため今後のまちづくりに期待すること

第 47 回府中市市政世論調査（概要版）

平成 27 年 9 月

発行：府中市政策総務部広報課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel 042-366-1711

実施：株式会社 T D S

東京都府中市晴見町二丁目 24 番地の 1

Tel 042-352-3330